

2024 年 1 月～12 月 教員別業績リスト

岩井 信彦 Nobuhiko IWAI (理学療法学科 教授)**【著書】**

高橋哲也、内山靖、岩井信彦、奈良勲 (編) : 理学療法概論第 7 版補訂、第 8 章理学療法(士)の役割とその領域、医歯薬出版、東京、147-173、2024.1.10.

【論文】

Daisuke Ashida、Hisahide Nishio、Mizuho Fujiwara、Nobuhiko Iwai : Relationship between functional independence measure scores and timed up-and-go time in postoperative elderly patients with vertebral and hip fractures : Journal of Physical Therapy Science、2024 ; 36(12):765-771

【学会発表】

芦田大介、岩井信彦、西尾久英、藤原瑞穂 : 回復期リハビリテーション開始時の高齢者における TUG と FIM の関係 : 第 29 回岡山県理学療法士学会、2024.6.30 (岡山医療専門職大学).

【講演】

岩井信彦. 講義 ; リハビリテーション概論. 神戸市シルバーカレッジ : 2024.9.2 (神戸しあわせの村).

岩井信彦. 臨床実習指導者講習会講義 1 ; 理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要. 2024 年度兵庫医科大学臨床実習指導者講習会 : 2024.10.5 (兵庫医科大学).

岩井信彦 : パネルディスカッション「総合リハビリテーション学部・研究科の進むべき道」、総合リハビリテーション学部 20 周年・総合リハビリテーション学研究科 15 周年記念事業 学術集会 2024.11.30 (神戸学院大学有瀬キャンパス 9 号館メモリアルホール)

松原 貴子 Takako MATSUBARA (理学療法学科 教授)**【著書】**

1. 松原貴子. 運動器疼痛に対する理学療法の有用性・適応と限界・禁忌. 井関雅子編, 運動器疼痛ペインクリニックの診断と治療. 克誠堂出版

【論文】

(原著)

1. Hattori T, Ohga S, Shimo K, Matsubara T. Pathology of knee osteoarthritis pain: contribution of joint structural changes and pain sensitization to movement-evoked pain

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- in knee osteoarthritis. Pain Rep. 2024;9(1):e1124. doi: 10.1097/PR9.0000000000001124. PMID: 38274197
2. Nakada K, Shimo K, Ohga S, Matsubara T. Characteristic Behaviors of Pain During Movement in the Older Individuals with Dementia. J Pain Res. 2024;17:865-871. doi: 10.2147/JPR.S424889. PMID: 38482485
 3. Katsura Y, Ohga S, Shimo K, Hattori T, Yamada T, Matsubara T. A decision tree algorithm to identify predictors of post-stroke complex regional pain syndrome. Sci Rep. 2024;14(1):9893. doi: 10.1038/s41598-024-60597-3. PMID: 38689114
 4. Niwa Y, Shimo K, Ohga S, Hattori T, Dokita A, Matsubara T. Effects of motor imagery using virtual reality on pain sensitivity and affect in healthy individuals: A prospective randomized crossover study. Pain Med. 2024:pnae043. doi: 10.1093/pm/pnae043. PMID: 38833679.
 5. Ohga S, Hattori T, Shimo K, Maeda H, Matsubara T. Impact of electrical muscle stimulation-induced muscle contractions on endogenous pain modulatory system: a quantitative sensory testing evaluation. BMC Musculoskelet Disord. 2024;25(1):1077. doi: 10.1186/s12891-024-08154-x. PMID: 39731029.
 6. 大友篤, 松原貴子, 上野博司, 渡邊恵介, 細越寛樹, 伊達久. 慢性疼痛の診療における医療従事者の困難感について～慢性疼痛診療ガイドライン研修会のアンケート結果から～

(総説)

1. 服部貴文, 松原貴子. –理学療法士が総合的に捉える視点(水準と領域のマトリックス)–疼痛. PTジャーナル. 2024;58(2):201-206.
2. 松原貴子. 痛みの仕組み–作業療法における「痛み」解決の糸口を探る–. 作業療法. 2024;43(2):164-170.
3. 服部貴文, 松原貴子. 虚血肢の治療 理学療法. ペインクリニック. 2024;45(5):483-490.
4. 牛田享宏, 馬場研二, 松原貴子. 痛みの治療 COVID-19 罹患後症状としての慢性疼痛. 臨床と研究. 2024;101(6):713-717.
5. 服部貴文, 松原貴子. 慢性腰痛に対する運動療法(1) 運動誘発性鎮痛の神経メカニズムと運動処方の実際. MB Orthopaedics. 2024;37(6):50-58.
6. 服部貴文, 大賀智史, 松原貴子. 慢性疼痛のメカニズムとその評価. Jpn J Rehabil Med. 2024;61(11):1020-1027.

【学会発表】

1. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者の運動誘発性鎮痛のバリア因子–内因

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- 性疼痛調節機能とサルコペニアに着目して－. 第 53 回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集：107, 2024. 第 53 回日本慢性疼痛学会（栃木, 2024/02/24）
2. 服部貴文, 松原貴子, 城由起子, 尾張慶子, 丹羽英美, 永井修平, 西須大徳, 牛田享：複合性局所疼痛症候群症例に対する段階的運動療法の効果－定量的感覚検査による検証－. 第 53 回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集：167, 2024. 第 53 回日本慢性疼痛学会（栃木, 2024/02/24）
 3. 山田良, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子：脳卒中肩関節痛の発症および重症度に関する要因の検討. Pain Rehabilitation 14(2): 72, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/08）
 4. 成瀬宏司, 磯村隆倫, 小林豊, 大賀智史, 松原貴子：消化器がん患者の術後遷延痛のリスク因子の検討－トータルペイン概念に基づく包括的な分析－. Pain Rehabilitation 14(2): 75, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/08）
 5. 前田創, 徳岡秀紀, 木村健一, 山口修平, 山田良, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子：パーキンソン病患者の疼痛と内因性疼痛調節機能の関係性. Pain Rehabilitation 14(2): 76, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/08）
 6. 運天優拓, 多和田倫也, 山口貴恵, 比嘉康敏, 服部貴文, 松原貴子, 平良豊：ギプス固定を繰り返し重篤化した CRPS に対し神経ブロックを併用した段階的運動療法が奏効した症例. Pain Rehabilitation 14(2): 78, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/08）
 7. 堂北絢郁, 丹羽祐斗, 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子：女性ホルモンが疼痛症状および内因性疼痛調節機能に及ぼす影響. Pain Rehabilitation 14(2): 88, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/08）
 8. 丸山佳輝, 服部貴文, 大賀智史, 西海望武, 田中浩一, 松原貴子：慢性腰痛患者の運動誘発性鎮痛のバリア因子に関する予備的検討. Pain Rehabilitation 14(2): 89, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/08）
 9. 下和弘, 堂北絢郁, 山口修平, 服部貴文, 大賀智史, 松原貴子：体組成と痛覚感受性の関係：加齢による体組成変化に着目した検討. Pain Rehabilitation 14(2): 96, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/09）
 10. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子：EMS による筋収縮の内因性疼痛調節系への影響－刺激強度の違いによる検討－. Pain Rehabilitation 14(2): 101, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/09）
 11. 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子：変形性膝関節症に対する行動変容アプローチの効果とバリア因子－疼痛感作指標を含めた検証－. Pain Rehabilitation 14(2): 104, 2024. 第 28 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会（長崎, 2024/06/09）
 12. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子：高齢者のレギュラー運動による鎮痛効果－縦

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- 断的検証－. Pain Rehabilitation 14(2): 104, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
13. 桂祐一, 服部貴文, 山田良, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: レギュラー運動による脳卒中片麻痺患者の痛覚感受性低減効果に関する縦断的検討. Pain Rehabilitation 14(2): 108, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
 14. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 越川桂, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛における疼痛感作と体組成の関係. Pain Rehabilitation 14(2): 115, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
 15. 堂北絢郁, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 山口修平, 丹羽祐斗, 松原貴子: 女性の月経周期と疼痛症状および内因性疼痛抑制機能の関係. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/20)
 16. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: レギュラー運動は高齢者にも EIH 効果をもたらすか? 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
 17. 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 肩関節痛に対する運動と神経ブロックの併用効果－クラスター解析による治療反応性検証. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
 18. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛に対する長期運動療法の効果－QSTによる疼痛感作の検証－. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
 19. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 運動療法とオピオイド鎮痛薬の併用介入による鎮痛効果の検証－症例集積. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
 20. 白木大吾, 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 体組成は疼痛感作に影響するか? 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
 21. Maeda H, Kimura K, Yamaguchi S, Hattori T, Ohga S, Shimo K, Matsubara T: Relationship between pain and endogenous pain modulatory system in patients with Parkinson's disease. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/06)
 22. Yamaguchi S, Hattori T, Shimo K, Ohga S, Matsubara T: Decreased Endogenous Pain Modulation and Sarcopenia Reduced Exercise-Induced Hypoalgesia in Elderly. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/07)
 23. Ohga S, Hattori T, Shimo K, Matsubara T: Analgesic effects of electromyostimulation-induced muscle contraction on pain modulatory system. IASP 2024 World Congress on

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- Pain (Amsterdam, 2024/08/07)
24. Hattori T, Shimo K, Ohga S, Matsubara T: Contribution of Structural Abnormalities and Sensitization to Movement-Evoked Pain in Osteoarthritis. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/08)
 25. Shimo K, Ohga S, Hattori T, Maruyama Y, Tanaka K, Matsubara T: Does a behavioral observation assessment of nociceptive pain reflect the intensity of stimuli? IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/08)
 26. Matsubara T, Hattori T, Shiro Y, Owari K, Niwa H, Tanaka C, Nagai S, Saisu H, Ushida T: Characteristics of neuronal sensitization to pain in fibromyalgia and localized musculoskeletal pain. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/09)
 27. 山田良, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: 脳卒中後肩関節痛の疼痛強度に関連する要因の検討. プログラム・抄録集, 第22回日本神経理学療法学会学術大会 (福岡, 2024/09/29)
 28. 山田良, 桂祐一, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: 脳卒中後肩関節痛と末梢・中枢感作の関係性. Pain Research 39 (Supplement) : S82, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)
 29. 前田創, 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: パーキンソン病の疼痛症状と中枢性疼痛抑制機能との関係: 媒介分析を用いた検討. Pain Research 39 (Supplement) : S84, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)
 30. 桂祐一, 大賀智史, 下和弘, 服部貴文, 松原貴子: 脳卒中後 CRPS に対する継続運動による鎮痛効果. Pain Research 39(Supplement) : S84, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)
 31. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 女性のライフステージにおける疼痛症状の変化と身体活動量の関連. Pain Research 39 (Supplement) : S91, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)
 32. 堂北絢郁, 服部貴文, 丹羽祐斗, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 体組成は内因性疼痛調節機能に影響するのか: 階層的クラスター解析による検証. Pain Research 39 (Supplement) : S91, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
 33. 下和弘, 大賀智史, 服部貴文, 松原貴子: Eye-tracking 解析を用いた virtual low back pain 評価の試み. Pain Research 39 (Supplement) : S97, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
 34. 成瀬宏司, 平岡大輝, 山下大輔, 西尾翔大, 浅見真帆, 佐光真美, 磯村隆倫, 小林豊, 大賀智史, 松原貴子: 腹腔鏡術後大腸がん患者の術後急性痛の病態. Pain Research 39 (Supplement) : S98, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
 35. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: がんサバイバーの運動による疼痛緩和効果 –メタアナリシスによる検討–. Pain Research 39 (Supplement) : S98, 2024. 第46回日本疼痛学会

2024年1月～12月 教員別業績リスト

(東京, 2024/11/17)

36. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者の運動誘発性鎮痛: 減退メカニズムと関連因子. Pain Research 39 (Supplement) : S99, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
37. 丸山佳輝, 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: 慢性腰痛に対する運動誘発性鎮痛とバリア因子の検討. Pain Research 39 (Supplement) : S100, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
38. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛の多角的治療における低強度運動の継続的鎮痛効果-運動および神経ブロック頻度の影響. Pain Research 39 (Supplement) : S100, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
39. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 更年期女性の疼痛症状・疼痛調節系と体組成は身体活動量増進による影響を受けるか? Pain Research 39 (Supplement) : S103, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
40. 服部貴文, 松原貴子, 城由起子, 尾張慶子, 丹羽英美, 西須大徳, 牛田享宏: 下行性疼痛抑制系の機能障害がもたらす慢性疼痛の臨床症候: conditioned pain modulationに基づく多変量解析. Pain Research 39 (Supplement) : S106, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
41. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 富澤孝太, 松原貴子: 早期 KOA の疼痛増悪メカニズム-MRI と QST による検討-. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S59, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会(東京, 2024/11/30)
42. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: 運動誘発性鎮痛の末梢機序の検討-骨格筋の果たす役割-. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S45, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会(東京, 2024/12/1)
43. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 女性のライフステージと疼痛特性-周期的疼痛と慢性疼痛の変遷-. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S73, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会(東京, 2024/12/1)
44. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 更年期女性の運動器疼痛症状と疼痛調節能および体組成・骨量との関係. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S73, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会(東京, 2024/12/1)
45. 山口修平, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: サルコペニア高齢者の疼痛感作と EIH 効果. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S86, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会(東京, 2024/12/1)
46. 松原貴子, 紺家千津子, 倉園研士, 北村美智, 森岡靖英, 南和寿, 五十嵐中: 便秘症を有する運動器慢性疼痛患者の経済的負担に関する調査研究. Journal of Musculoskeletal Pain Research

2024年1月～12月 教員別業績リスト

16(4) : S87, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会（東京, 2024/12/1）

【講演】

1. 松原貴子：リハビリテーション。慢性疼痛診療ガイドライン研修会（沖縄, 2024/01/07）
2. 松原貴子：慢性疼痛の病態とリハ戦略。大分 Perceive 大分県理学療法士会（Web, 2024/01/21）
3. 松原貴子：リハビリテーション。慢性疼痛診療ガイドライン研修会（福島, 2024/01/28）
4. 松原貴子：疼痛作業療法の探究。長崎作業療法士会 長崎ハンドセラピー研究会（Web, 2024/02/02）
5. 松原貴子：接種に関わる診療での運動療法活用について。厚生労働省 HPV ワクチンの接種に係る医療機関向け研修会（東京, 2024/02/04）
6. 松原貴子：関節症に伴う疼痛の病態と治療戦略。第18回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム（東京, 2024/02/17）
7. 松原貴子：慢性疼痛治療における運動療法。令和5年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 慢性疼痛診療研修会（岐阜, 2024/02/18）
8. 松原貴子：歯科・口腔外科領域における慢性疼痛に対する運動療法の意義。厚生労働行政推進調査「慢性の痛み」政策研究事業 歯科セミナー第6回歯科・口腔外科領域における痛みのとらえ方と集学的診療の必要性（大阪/Web, 2024/02/18）
9. 松原貴子：疼痛患者の喫煙に関する今後の方向性。第53回日本慢性疼痛学会 シンポジウム1（栃木, 2024/02/23）
10. 松原貴子：ペインリハビリテーションにおけるオピオイド鎮痛薬の役割。第53回日本慢性疼痛学会（栃木, 2024/02/24）
11. 松原貴子：痛み評価と治療の最前線。福島県理学療法士会学術講習会（福島, 2024/03/02）
12. 松原貴子：痛みを和らげる運動と栄養。一般財団法人日本いたみ財団 市民公開講座（東京, 2024/03/16）
13. 松原貴子：骨切り後遷延痛の予防・治療的ペインリハを考える。第3回日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会 アフタヌーンセミナー2（香川, 2024/04/19）
14. 松原貴子：プロが語るペインリハビリテーションの実践－日常診療に取り入れられる運動指導のコツ－。日本ペインクリニック学会第58回学術集会 教育講演4（栃木, 2024/07/19）
15. 松原貴子：慢性疼痛診療におけるリハビリテーションの実践。慢性疼痛診療ワークショップ（青森, 2024/07/28）
16. 松原貴子：ペインクリニックにどう活用する？運動療法の有効性と限界。第1回 臨床ペインクリニック研究会 公開シンポジウム（Web, 2024/08/19）
17. 松原貴子：疼痛理学療法－病態メカニズムから評価・治療まで－。徳島県理学療法士会令和6年度第3回学術部研修会（Web, 2024/08/25）

2024年1月～12月 教員別業績リスト

18. 松原貴子：痛みに対するリハビリテーション戦略～病態の基礎から実践まで～. 令和6年厚生労働省慢性疼痛診療システム均てん化等事業－九州地区－医療者向け研修会（沖縄, 2024/08/30）
19. 松原貴子：関節症と慢性疼痛の病態－血友病患者のライフステージに合わせた疼痛管理－. 第7回 Hemophilia total care Seminar in Niigata (Web, 2024/09/12)
20. 松原貴子：血友病性関節症の疼痛管理について考える－慢性関節痛の病態と治療戦略－. Pain Management Seminar in Hemophilia－痛みについて考える－（愛媛/Web, 2024/09/27）
21. 松原貴子：慢性疼痛診療におけるリハビリテーションの実践. 慢性疼痛診療ワークショップ（宮崎, 2024/09/29）
22. 松原貴子：血友病性関節症の疼痛管理について考える－慢性関節痛の病態と治療戦略－. Hemophilia Exercise & pain Management (兵庫/Web, 2024/10/17)
23. 松原貴子：慢性疼痛の病態と予防・治療戦略－産業保健分野における疼痛管理－. 第7回日本産業理学療法研究会学術大会 教育講演 (Web, 2024/10/27)
24. 松原貴子：慢性疼痛診療におけるリハビリテーションの実践. 慢性疼痛診療ワークショップ（北海道, 2024/11/4）
25. 松原貴子：慢性疼痛診療におけるリハビリテーションの実践. 慢性疼痛診療ワークショップ（山口, 2024/11/10）
26. 松原貴子：疼痛リハビリテーションの最新動向と国際的潮流. 第46回日本疼痛学会 シンポジウム19（東京, 2024/11/17）
27. 松原貴子：血友病性関節症の疼痛病態と治療戦略. CSL ベーリング Hemophilia Total Care（愛知, 2024/11/22）
28. 松原貴子：慢性疼痛の治療戦略と理学療法ポテンシャル. 第34回京都府理学療法学術大会（京都, 2024/11/24）
29. 松原貴子：便秘と疼痛リハビリテーション医療－便秘が生活活動・労働生産性に及ぼす影響 ランチョンセミナー6（東京, 2024/12/1）
30. 松原貴子：慢性疼痛のリハ戦略－運動療法の効能と課題－. 佐賀県医師会学術講演会（Web, 2024/12/09）
31. 松原貴子：Next Stage of HEMOPHILIA Treatment. 血友病性関節症の疼痛病態とマネジメント戦略. 中外製薬株式会社研修会（大阪/Web, 2024/12/18）
32. 松原貴子：慢性疼痛診療におけるリハビリテーションの実践. 慢性疼痛診療ワークショップ（東京, 2024/12/22）

2024年1月～12月 教員別業績リスト

村尾 浩 Hiroshi MURAO（理学療法学科 教授）

【論文】

H. Kumano, H. Murao : Compartment syndrome of the foot with Lisfranc fracture dislocation treated by a 2-incision approach:a case report. JOA Case report. 2024:3 117-121.

【講演】

多肢選択問題の作成の仕方 -教育原理の理解から evidence まで- 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 神戸学院大学大学院総合リハビリテーション研究科 FD 研修会. 神戸学院大学有瀬キャンパス, 神戸市, 2024/06/05

大庭 潤平 Jumpei OBA（作業療法学科 教授）

【著書】

1. 大庭潤平（編著）：作業療法管理学, 医歯薬出版株式会社, 2024/10

2. 大庭潤平：対象者中心の評価法（第2章 17）, 標準作業療法学作業療法評価学第4版、医学書院, 2024/1

【論文】

1. 安藤悠, 大庭潤平, 柴田八衣子, 浅井康紀, 菊地理仁, 戸田光紀, 陳隆明：在宅生活における義手の実用的使用に与える要因, 作業療法, 2024, 43（3）, 341-349

2. 大庭潤平, 加藤雅子, 西尾久英, 岡田由香, 小阪嘉之, 高田哲：5歳児健康診査－作業療法士の役割－, Precision Medicine, 2024, 83（7）, 44-49

3. 中前智通, 森川孝子, 大庭潤平：作業療法学生の情動知能及び学習成果との関係
作業療法教育研究, 2024, 24（1）, 4-9

4. 若林秀昭, 加藤雅子, 西尾久英, 古田恒輔, 小阪嘉之, 中村肇, 大庭潤平：脊髄性筋萎縮症のリハビリテーション－作業療法士の役割－, BIO Clinica, 2024, 39（9）, 59-61

5. 大庭潤平：OJT（On the Job Training）とは何か, 作業療法ジャーナル, 2024, 58(1), 16-20

2024年1月～12月 教員別業績リスト**【学会発表】**

1. Mizuki Kobashi, Masahiro Ogawa, Daisuke Tashiro, Tomoya Okayama, Jumpei OBA : One-year Changes in the Physical Activities of Daily Living and Daily Function in Community-dwelling Older Adults, The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), JAPAN・Sapporo, 2024.11.6-9
2. Kohei Urata, Yu Ando, Koki Asai, Yoshihito Kikuchi, Taiki Yuguchi, Jumpei Oba : Relationship between Occupational participation and Quality of life in patients with proximal femur fractures. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), JAPAN・Sapporo, 2024.11.6-9
3. Bhing-Leet Tan, Kee Hean Lim, Jumpei Oba, Margarita Mondaca, Michael Sy : Should occupational therapists be occupational activists? The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), JAPAN・Sapporo, 2024.11.6-9
4. Koki Asai, Yoshimitsu Shimomura, Kentaro Iwata, Jumpei Oba: Longitudinal changes in the daily life performance and mental functions among recipients of hematopoietic stem cell transplant. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), JAPAN・Sapporo, 2024.11.6-9
5. Tomoya Okayama, Jumpei OBA, Masahiro Ogawa, Daisuke Tashiro, Mizuki Kobashi: Characteristics of participation in community activities among community-dwelling older adults; Comparison of two groups, divided by age and gender. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), JAPAN・Sapporo, 2024.11.6-9
6. Yoshihito Kikuchi, Kiyomi Ikehata, Kousuke Tanaka, Fumio Sakimoto, Jumpei Oba: Analysis of Issues in Occupational Therapy Practice Using QUEST (Quality Evaluation Strategy Tool)-An approach in an occupational therapy department with a convalescent rehabilitation ward-. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), JAPAN・Sapporo, 2024.11.6-9
7. Shinya Inoue, Aki Ohta, Sumiko Kan, Tsutomu Okiyama, Hirokazu Hasegawa, Jumpei Oba: Occupational therapy expertise in care management support. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024), JAPAN・Sapporo, 2024.11.6-9

2024年1月～12月 教員別業績リスト

8.kohei sawa, Fumio Sakimoto, Kiyomi Ikehata, Jumpei Oba:The goal setting of occupation reacquisition could a positive view of life after discharge from hospital: a case study using the MTDLP. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024),JAPAN・Sapporo,2024.11.6-9

9.Toshimichi Nakamae, Takako Morikawa, Jumpei Oba:The relationship between emotional intelligence and learning outcomes in occupational therapy students in Japan: a pilot study. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024),JAPAN・Sapporo,2024.11.6-9

10.Izumi Nakamura, Daiki Fujii, Daiki Yamada, Jumpei Oba:Comparison of Myoelectric Prosthesis and Normal Hand with both hands Manipulation Tasks -Characteristics of visual cognitive function-. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024),JAPAN・Sapporo,2024.11.6-9

11.Daiki Fujii, Izumi Nakamura, Daiki Yamada, Jumpei Oba:Characteristics of Visual Cognitive Functioning in a Grip Grasping Task While Using a Myoelectric Prosthetic Hand ～Analysis of Two Types of Prosthetic and a Normal Hands Using a Wearable Eye Tracker～. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC 2024),JAPAN・Sapporo,2024.11.6-9

【講演】

1.大庭潤平：作業療法の危機養成校の定員割れをどうするか,日本作業療法教育学会,2024,8/17

2.大庭潤平：補装具の理解,中級パラスポーツ指導者養成講習会,2024,10/12

阪井 一雄 Kazuo SAKAI (作業療法学科 教授)

【学会発表】

Takako Morikawa, Toshimichi Nakamae, Kazuo Sakai, Taisei Yamamoto：A study on the physical function of individuals with mental disorders during employment support period. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 (Sapporo Japan Nov 8th 2024)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

【講演】

阪井一雄 新旧のアルツハイマー病治療薬と認知症診療・介護の実際: 第75回日本薬理学会北部会
市民公開講座 (岩手県盛岡市, アイーナ8F 2024/9/21)

阪井一雄 認知症とその対策. (受刑者に対する講義 大阪府堺市 大阪刑務所 2024/8/2)

【その他】

学会座長

阪井一雄: ポスター1「軽度認知障害、若年性認知症」 第13回 日本認知症予防学会学術集会
(神奈川県横浜市 パシフィコ横浜ノース 2024/9/27)

阪井一雄 日本認知症学会 学会誌 Dementia Japan 編集委員

西尾 久英 Hisahide NISHIO (作業療法学科 教授)

【論文】

(原著)

Nambu Y, Shirakawa T, Osawa K, Nishio H, Nozu K, Matsuo M, Awano H. Brothers with Becker muscular dystrophy show discordance in skeletal muscle computed tomography findings: A case report. SAGE Open Med Case Rep. 2024 Jan 3; 12: 2050313X231221436. doi: 10.1177/2050313X231221436. PMID: 38187815; PMCID: PMC10768573.

Yamada M, Maeta K, Suzuki H, Kurosawa R, Takenouchi T, Awaya T, Ajiro M, Takeuchi A, Nishio H, Hagiwara M, Miya F, Matsuo M, Kosaki K. Successful skipping of abnormal pseudoexon by antisense oligonucleotides in vitro for a patient with beta-propeller protein-associated neurodegeneration. Sci Rep. 2024 Mar 18;14(1):6506. doi: 10.1038/s41598-024-56704-z. PMID: 38499569; PMCID: PMC10948761.

Ashida D, Nishio H, Fujiwara M, Iwai N. Relationship between functional independence measure scores and timed up-and-go time in postoperative elderly patients with vertebral and hip fractures. J Phys Ther Sci. 2024 Dec;36(12):765-771. doi: 10.1589/jpts.36.765. Epub 2024 Dec 1. PMID: 39624351; PMCID: PMC11608656.

2024年1月～12月 教員別業績リスト

Nambu Y, Matsumura T, Machida K, Tsutsumi R, Hata S, Shinkai-Ouchi F, Ono Y, Osawa K, Shirakawa T, Bo R, Nishio H, Sakaue H, Awano H, Matsuo M. The N-Terminal Fragment of Urine Titin Is Not a Product of Degradation by Calpain 3. Muscle Nerve. 2025 Jan 8. doi: 10.1002/mus.28340. Epub ahead of print. PMID: 39777416.

(総説)

大庭潤平, 加藤雅子, 西尾久英, 岡田由香, 小阪嘉之, 高田哲. 5歳児健康診査－作業療法士の役割－. Precision Medicine (2024年10月) 7巻: 10号: 814-819.

若林秀昭, 加藤雅子, 西尾久英, 古田恒輔, 小阪嘉之, 中村肇. 脊髄性筋萎縮症のリハビリテーション－作業療法士の役割－. Bio Clinica (2024年10月) 39巻: 10号: 867-869.

齊藤利雄, 西尾久英. トフェルセン-SOD1 遺伝子異常に関連した筋萎縮性側索硬化症の新規薬剤. Bio Clinica (2024年12月) 39巻: 12号: 1069-1072.

Nishio H, Niba ETE, Saito T, Okamoto K, Lee T, Takeshima Y, Awano H, Lai PS. Clinical and Genetic Profiles of 5q- and Non-5q-Spinal Muscular Atrophy Diseases in Pediatric Patients. Genes (Basel). 2024 Sep 30;15(10):1294. doi: 10.3390/genes15101294. PMID: 39457418; PMCID: PMC11506990.

藤原 瑞穂 Mizuho FUJIWARA (作業療法学科 教授)

【著書】

藤原瑞穂. 第10章 I倫理とは (pp.118-119), II作業療法士の職業倫理と研究倫理 (pp.120-121), 第13章 I教育の原理と教育心理 (pp.160-161), II教育方法論と教育評価 (pp.162-163), 第15章 I臨床と実践知と研究 (pp.182-183). 作業療法管理学第3版 (大庭潤平編), 医歯薬出版, 2024.

【論文】

Ashida D, Nishio H, Fujiwara M, Iwai N. Relationship between functional independence measure scores and timed up-and-go time in postoperative elderly patients with

2024年1月～12月 教員別業績リスト

vertebral and hip fractures. J Phys Ther Sci. 2024 Dec;36(12):765-771. doi: 10.1589/jpts.36.765. Epub 2024 Dec 1. PMID: 39624351; PMCID: PMC11608656.

【学会発表】

Fujiwara M: Phenomenological Qualitative Analysis of Caring of Stroke Survivors. 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 (Sapporo, Japan 2024/12/6-9)

小橋美月, 小川真寛, 田代大祐, 大瀧誠, 梶田博之, 加藤雅子, 塚原正志, 森川孝子, 中前智通, 藤原瑞穂, 大庭潤平: 地域在住高齢者の1年間の生活機能の変化と IADL 実施状況の関連 ～生活機能維持・向上に対する旅行の有用性～. 日本老年行動科学会第26回大会, 東京, 2024/9/28-29

【講演】

藤原瑞穂. 職業倫理及び連携論. 多職種連携論. 第1回臨床実習指導者講習会, 兵庫県作業療法士会, 2024/9/12-22.

藤原瑞穂. 事例報告と事例研究. 兵庫県作業療法士会 第2回現職者共有研修会. 2024/8/4.

大塚 美和子 Miwako OTSUKA (社会リハビリテーション学科 教授)**【論文】**

大塚美和子. スクールソーシャルワーカーと学校がチームで取り組む子どもアドボカシー —コーディネーター教員を対象としたインタビュー調査の分析—. 神戸学院総合リハビリテーション研究. 2024;3.19(2).43-55.

【学会発表】

大塚美和子「ジェネラリスト・ソーシャルワークに基づくスクールソーシャルワーク・スーパービジョンの検討」日本学校ソーシャルワーク学会第18回全国大会 課題別分科会シンポジスト (文教大学, 2024/8/24-25)

大塚美和子「保護者ケース会議を含むチーム支援が保護者の「子ども理解」に及ぼした影響—保護者へのインタビュー調査の分析から—」日本社会福祉学会第72回秋季大会口頭発表 (日本福祉大学, 2024/10/26-27)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

【講演】

大塚美和子. 「演習事例を通して学ぶいじめ対応の実際」 令和5年度第2回いじめ対応猪名川町ネットワーク会議研修（猪名川町、2024/02/06）

大塚美和子. 「エビデンス（根拠）に基づく効果的なスクールソーシャルワーク」「スクールソーシャルワークの理論～理論を実践に活かすために～」 兵庫県社会福祉士会 SSW 養成研修（オンライン研修 2024/04/27）

大塚美和子. 「いじめ問題への予防教育を考える～発達支持的生徒指導・子どもの人権の観点から～」 猪名川町 SSW・コーディネーター研修（猪名川町、2024/06/21）

大塚美和子. 「チーム学校で支援するためのケース会議の在り方 不登校の子どもの事例を通して」 大阪府豊能地区教職員不登校研修（豊中市、2024/08/02）

大塚美和子. 「子どもの問題を早期に発見・チームで解決～SSWを活かした校内支援体制について～」 西宮市 SSW 学校合同研修会（西宮市、2024/08/22）

大塚美和子. 「校内支援体制づくりとスクールソーシャルワーカーの支援体制」 日本学校ソーシャルワーク学会北海道ブロック研修会（北海道札幌市、2023/09/28）

大塚美和子. 「問題予防型の校内支援の実際を学ぶ～問題予防型校内支援の体制づくりと保護者・子どもとのケース会議の進め方～」 科研成果に関する自主講座（オンライン研修 2024/10/19）

奥西 栄介 Eisuke OKUNISHI（社会リハビリテーション学科 教授）

【著書】

奥西栄介「第4章 高齢者の特性および症状 4節 社会的特性, 5節 経済的特性, コラム②エイジズムとは」(杉本敏夫・橋本有理子編著『学びを追究する高齢者福祉』第2版, 教育情報出版, 2024年8月, pp.44-48)

【学会発表】

永井裕子・塚本利幸・奥西栄介・坂口昌宏・相馬大祐「「地域共生社会」の実現に向けた社会関係資本の実証的研究—A市の住民インタビュー調査分析から—」第38回大会, 日本地域福祉学会, 文京学院

2024年1月～12月 教員別業績リスト

大学（東京都），2024年6月15日.

小松友紀・牛場裕治・奥西栄介「ケアマネジャーを対象とした事例検討による研修の効果～2つの事例検討手法を用いた研修を実施して」第23回研究大会，日本ケアマネジメント学会，神奈川県立保健福祉大学（神奈川県横須賀市），2024年6月23日.

牛場裕治・小松友紀・奥西栄介「ケアマネジャーを対象とした事例検討による研修の意義～2つの事例検討手法の研修参加者の感想をもとに～」第23回研究大会，日本ケアマネジメント学会，神奈川県立保健福祉大学（神奈川県横須賀市），2024年6月23日.

【講演】

奥西栄介「地域援助技術」福井県主任介護支援専門員研修（講師），福井県介護支援専門員協会，web開催，2024年1月24日.

奥西栄介「家族や地域の支援力の活用と強化」ファーストステップ研修（講師），福井県介護福祉士会，福井県社会福祉センター（福井県福井市），2024年2月13日.

奥西栄介「言葉の力を信じるケアマネジメントの本質を学ぶ～その人らしさの理解とエンパワメント支援に基づく施設ケアマネジメント～」施設ケアマネジメント部会研修会（助言者），神戸市ケアマネジャー連絡会，神戸市立総合福祉センター（神戸市），2024年2月19日.

奥西栄介「地域を基盤としたソーシャルワークと福井市社協職員の役割」福井市社会福祉協議会職員研修（講師），福井市民福祉会館（福井県福井市），2024年2月26日.

奥西栄介「SAKAI 式事例検討法」小浜市居宅支援事業所連絡会・研修会（講師），小浜市，小浜市健康管理センター（福井県小浜市），2024年2月27日、3月5日.

奥西栄介「家族介護者の理解と相談援助」今治市地域包括支援センター北郷・大西・菊間圏域介護支援専門員研修会（講師），今治市地域包括支援センター北郷・大西・菊間，今治市大西公民館（愛媛県今治市），2024年7月19日.

奥西栄介「実習スーパービジョン」愛媛県社会福祉士会実習指導者講習会（講師），愛媛県社会福祉士会，今治総合福祉センター（愛媛県今治市），2024年7月21日.

2024年1月～12月 教員別業績リスト

奥西栄介「自立支援のためのケアマネジメントの基本」福井県介護支援専門員再研修・更新研修（講師）,福井県社会福祉協議会, 福井県社会福祉センター（福井県福井市）, 2024年7月26日.

奥西栄介「自立支援のためのケアマネジメントの基本」滋賀県介護支援専門員更新研修Ⅱ・再研修（講師）, 滋賀県社会福祉協議会, 滋賀県立長寿社会福祉センター（滋賀県草津市）, 2024年7月31日.

奥西栄介「高齢者福祉サービス版第三者評価基準ガイドラインの概要とポイント」第三者福祉サービス評価事業調査者養成研修会（講師）, 全国社会福祉協議会, 新霞が関ビル（東京都）, 2024年8月1日.

奥西栄介「自立支援のためのケアマネジメントの基本」「人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理」奈良県介護支援専門員更新・再研修（講師）, 奈良県社会福祉総合センター（奈良県橿原市）, 2024年9月27日、28日.

奥西栄介「さまざまなケアラーに対する支援とケアマネジメント」ケアマネジメントスキルアップ研修（企画・コメンテーター）, 日本ケアマネジメント学会, web開催, 2024年10月6日.

奥西栄介「利用者の最良の理解者になるために～人生に寄り添う施設ケアマネジメントを再考する～」施設ケアマネジャー研修（助言者）, 神戸市ケアマネジャー連絡会, 神戸市立総合福祉センター（神戸市）, 2024年10月22日.

奥西栄介「高齢者施設ケアマネジメント研修」高齢者施設ケアマネジメント研修（講師）, 大阪府社会福祉協議会, 大阪社会福祉指導センター（大阪市）, 2024年11月15日、22日.

奥西栄介「傾聴からはじまるストレングス発見研修」利用者理解力向上研修（講師）, 奈良県社会福祉協議会, 奈良県社会福祉総合センター（奈良県橿原市）, 2024年11月19日.

奥西栄介「これからの包括的・重層的支援体制と地域の課題解決に向けたネットワークのあり方」CSWマイスター現任研修会（講師・コーディネーター）, 大阪府社会福祉協議会, 難波御堂筋ホール（大阪市）, 2024年12月20日.

奥西栄介「自立支援のためのケアマネジメントの基本」滋賀県介護支援専門員実務研修（講師）, 滋賀県社会福祉協議会, 滋賀県立長寿社会福祉センター（滋賀県草津市）, 2024年12月24日.

2024年1月～12月 教員別業績リスト

【その他】

奥西栄介「本の紹介：安克昌『新增補版 心の傷を癒すということ：大災害と心のケア』作品社，2020年」『ニューズレター』第45号，日本ケアマネジメント学会，p.8，2024年3月15日。

奥西栄介「多職種連携・協働、地域医療、介護予防・総合事業、ケアマネジャーの質・ケアマネジメントの評価」第23回研究大会ポスター発表01（座長），日本ケアマネジメント学会，神奈川県立保健福祉大学（神奈川県横須賀市），2024年6月22日。

奥西栄介「家族介護とは何か～家族が大きく変化する中でこれからの在り様を模索する」第23回研究大会シンポジウム8（座長），日本ケアマネジメント学会，神奈川県立保健福祉大学（神奈川県横須賀市），2024年6月23日。

奥西栄介「巻頭言：介護することの価値を考える」『My Care Plan News』第239号，マイケアプラン研究会，pp.1-2，2024年8月1日。

奥西栄介「本の紹介：横山登志子・須藤八千代・大嶋栄子編著『ジェンダーからソーシャルワークを問う』ヘウレーカ，2020年」『ニューズレター』第46号，日本ケアマネジメント学会，p.8，2024年9月20日。

塚本利幸・奥西栄介・相馬大祐・坂口昌弘・永井裕子・半田信哉・斉藤正晃・嶋田貴美「中間報告書：『地域共生社会』の実現に向けた社会関係資本の実証的研究—『暮らしやすい地域づくりに関するアンケート』の分析から—」日本生命財団2022年度高齢社会実践的課題研究助成，2024年9月30日。

塚本利幸・奥西栄介・相馬大祐・坂口昌弘・永井裕子・半田信哉・斉藤正晃・嶋田貴美「『地域共生社会』の実現に向けた社会関係資本の実証的研究」第31回ニッセイ財団高齢社会ワークショップ（研究成果報告会），日本生命財団2022年度高齢社会実践的課題研究助成，TKP ガーデンシティ大阪淀屋橋（大阪市），2024年12月6日。

糟谷 佐紀 Saki KASUYA（社会リハビリテーション学科 教授）

【著書】

（分担執筆）

糟谷佐紀:大学生が支え、支えられる団地の暮らし。地域とつながる高齢者・障がい者の住まい 計画

2024年1月～12月 教員別業績リスト

と設計 35 の事例. 西野亜希子・岡部真智子・阪東美智子,学芸出版社, 133-136, 2024/9

(その他の執筆)

糟谷佐紀、野口祐子、植田瑞昌：連載 福祉のまちづくり×レジェンド①野村歡氏, 福祉のまちづくり研究, 第 26 巻第 2 号, 75-82, 2024/12

【学会発表】

糟谷佐紀、野口祐子、植田瑞昌：障害者のための住宅政策の変遷. 日本福祉のまちづくり学会 第 27 回全国大会, 講演論文集 (Web) : 146-147 (北海道科学大学, 2024/08/31～9/1)

【講演】

糟谷佐紀. 仮設住宅に関する国の考え方と実態. 被災後リハビリ工学支援でできること～住環境のあり方～, 日本リハビリテーション工学協会 災害対策委員会主催, 第 38 回リハビリ工学カンファレンス (日本福祉大学 東海キャンパス, 2024/8/24)

糟谷佐紀.ユニバーサル社会の構築に向けて～今、高校生に考えてほしいこと～,神戸市立六甲アイランド高校 社会福祉研究:2024/5/28 (六甲アイランド高校)

【その他】

糟谷佐紀. スーパーバイザー. 社会福祉研究「ユニバーサル社会をめざして」課題研究 中間発表会. 神戸市立六甲アイランド高校:2024/10/24・31

佐野 光彦 Mitsuhiko SANO (社会リハビリテーション学科 教授)

・佐野光彦. 多国籍企業のグローバル人材戦略. 佐久間信夫・小林守編. 多国籍企業の理論と戦略-改訂版. 2024年. 学文社. pp.145-159.

・佐野光彦. 日本の発展途上国援助の模索—バングラデシュの障がい児童支援. Global Asia Review (14). pp.33-35.

・佐野光彦・その他. 発展途上国の障がい者支援: バングラデシュを中心として. 日本リハビリテーション工学協会. リハ工カンファレンス論文集. 2024年. pp.131-132.

・植村仁・佐野光彦・その他. バングラデシュの視覚障がい者教育とデジタル教科書. 日本リハビリテ

2024年1月～12月 教員別業績リスト

ーション工学協会. リハ工カンファレンス論文集, 2024年, pp.137-138.

- ・ Mehedi Hassan Khan・佐野光彦・その他, Assistive Technology Service Delivery Guideline-A Rapid Review. 日本リハビリテーション工学協会. リハ工カンファレンス論文集, 2024年, pp.139-140.

西垣 千春 Chiharu NISHIGAKI (社会リハビリテーション学科 教授)

【講演】

- ・ 西垣千春 「大学生の困窮に関する現状について」神戸市社会福祉協議会開催、神戸市民福祉交流センター、2024年6月
- ・ 西垣千春 「5年間の取り組みから見た学生の状況から若者の未来をつなぐために求められること～」神戸学院大学同窓会京都市が支部、琵琶湖ホテル、2024年6月
- ・ 西垣千春 「若者の実情から見た生活困窮・孤立の実態」神戸市東灘区社会福祉協議会、東灘区役所、2024年12月

宮崎 清恵 Kiyoe MIYAZAKI (社会リハビリテーション学科 教授)

【講演】

- 宮崎清恵, ソーシャルワーカーのための進化論～実践と思考の交差点～. (公社)埼玉県医療社会事業協会専門研修, 2024.1.20. (オンライン開催)
- 宮崎清恵, 家族支援の理論と実際. (公社)日本社会福祉士会・(公社)日本医療ソーシャルワーカー協会 第19期保健医療におけるソーシャルワークにおける専門研修スクーリング, 2024.2.3 (オンライン開催).
- 宮崎清恵, 認定社会福祉士制度におけるスーパービジョン, 認定社会福祉士認証・認定機構 スーパービジョン説明会, 2024.2.24. (オンライン開催)
- 宮崎清恵, 認定機構制度化におけるグループ・スーパービジョンの実施の方法と手順, (公社)日本医療ソーシャルワーカー協会主催 2024年度グループ・スーパービジョン体験研修, 2024.4.27-28, 9.28-

2024年1月～12月 教員別業績リスト

29(オンライン開催)

宮崎清恵. 相談対応・基本の“き”. 令和6年度自殺対策研修. 兵庫県東播磨民生局. 2024.9.13. (加古川市).

宮崎清恵. MSWのためのスーパービジョン～SWの「こうなりたい!」を実現するために：基礎編と理解編. 2024年度広島県医療ソーシャルワーカー協会中堅者研修. 2024.10.5、12.21(広島市).

宮崎清恵. スーパービジョン・応用編. 令和6年度 兵庫県立病院医療福祉相談員研修会. 兵庫県病院局. 2024.11.2. (神戸市)

宮崎清恵. MSWに求められる資質について～育ち方・育て方～. 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会医療部会 第3回MSW研修会. 2024.11.8.(大阪市)

宮崎清恵. 面接技法. 2024年度(一社)兵庫県精神保健福祉士協会新人研修. 2024. 12. 13(神戸市).

宮崎清恵. 実践力・実践モデル概論Ⅰ、実践力・実践モデル概論Ⅱ、実践力・実践モデル概論Ⅲ、実践力・実践モデル概論Ⅳ、実践力・実践モデル補充講義. (公社)日本医療ソーシャルワーカー協会2024年度ソーシャルワークスキルアップ研修-周産期・小児ソーシャルワーク研修. 2024.12.14-15 (オンライン開催).

【その他】

宮崎清恵. コーディネーター. 兵庫県医療ソーシャルワーカー協会主催 第17回兵庫県MSW実践発表会. 2024.1.27. (神戸市).

宮崎清恵他. 企画・講師. 2024年度スーパーバイザー登録推進研修. (公社)日本医療ソーシャルワーカー協会. 2024. 2. 24. (オンライン開催).

宮崎清恵. シンポジウム座長. 「苦悩に向き合うソーシャルワーカーの実践」(一社)日本保健医療社会福祉学会第34回大会. 2024.10.12. (オンライン開催).

宮崎清恵. (一社)日本保健医療社会福祉学会第34回大会 シンポジウム「.苦悩に向き合うソーシャルワーカーの実践」報告. (一社)日本保健医療社会福祉学会ニュース. 33(3). 2024.12.17

2024年1月～12月 教員別業績リスト

小嶋 功 Isao OJIMA (理学療法学科 准教授)**【講演】**

小嶋 功：脳卒中片麻痺者の下肢装具。公益社団法人高知県理学療法士協会研修会（Web 開催，2024/10/30）

下 和弘 Kazuhiro SHIMO (理学療法学科 准教授)**【論文】**

(原著)

1. Hattori T, Ohga S, Shimo K, Matsubara T. Pathology of knee osteoarthritis pain: contribution of joint structural changes and pain sensitization to movement-evoked pain in knee osteoarthritis. *Pain Rep.* 2024;9(1):e1124. doi: 10.1097/PR9.0000000000001124. PMID: 38274197
2. Nakada K, Shimo K, Ohga S, Matsubara T. Characteristic Behaviors of Pain During Movement in the Older Individuals with Dementia. *J Pain Res.* 2024;17:865-871. doi: 10.2147/JPR.S424889. PMID: 38482485
3. Katsura Y, Ohga S, Shimo K, Hattori T, Yamada T, Matsubara T. A decision tree algorithm to identify predictors of post-stroke complex regional pain syndrome. *Sci Rep.* 2024;14(1):9893. doi: 10.1038/s41598-024-60597-3. PMID: 38689114
4. Niwa Y, Shimo K, Ohga S, Hattori T, Dokita A, Matsubara T. Effects of motor imagery using virtual reality on pain sensitivity and affect in healthy individuals: A prospective randomized crossover study. *Pain Med.* 2024:pnae043. doi: 10.1093/pm/pnae043. PMID: 38833679.
5. Ohga S, Hattori T, Shimo K, Maeda H, Matsubara T. Impact of electrical muscle stimulation-induced muscle contractions on endogenous pain modulatory system: a quantitative sensory testing evaluation. *BMC Musculoskelet Disord.* 2024;25(1):1077. doi: 10.1186/s12891-024-08154-x. PMID: 39731029.

【学会発表】

1. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子：高齢者の運動誘発性鎮痛のバリア因子－内因性疼痛調節機能とサルコペニアに着目して－. 第53回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集：107, 2024. 第53回日本慢性疼痛学会（栃木, 2024/02/24）

2024年1月～12月 教員別業績リスト

2. 山田良, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 脳卒中肩関節痛の発症および重症度に関する要因の検討. Pain Rehabilitation 14(2): 72, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (長崎, 2024/06/08)
3. 前田創, 徳岡秀紀, 木村健一, 山口修平, 山田良, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: パーキンソン病患者の疼痛と内因性疼痛調節機能の関係性. Pain Rehabilitation 14(2): 76, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (長崎, 2024/06/08)
4. 堂北絢郁, 丹羽祐斗, 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 女性ホルモンが疼痛症状および内因性疼痛調節機能に及ぼす影響. Pain Rehabilitation 14(2): 88, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (長崎, 2024/06/08)
5. 下和弘, 堂北絢郁, 山口修平, 服部貴文, 大賀智史, 松原貴子: 体組成と痛覚感受性の関係: 加齢による体組成変化に着目した検討. Pain Rehabilitation 14(2): 96, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (長崎, 2024/06/09)
6. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: EMSによる筋収縮の内因性疼痛調節系への影響-刺激強度の違いによる検討-. Pain Rehabilitation 14(2): 101, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (長崎, 2024/06/09)
7. 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 変形性膝関節症に対する行動変容アプローチの効果とバリア因子-疼痛感作指標を含めた検証-. Pain Rehabilitation 14(2): 104, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (長崎, 2024/06/09)
8. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者のレギュラー運動による鎮痛効果-縦断的検証-. Pain Rehabilitation 14(2): 104, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (長崎, 2024/06/09)
9. 桂祐一, 服部貴文, 山田良, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: レギュラー運動による脳卒中片麻痺患者の痛覚感受性低減効果に関する縦断的検討. Pain Rehabilitation 14(2): 108, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 (長崎, 2024/06/09)
10. 堂北絢郁, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 山口修平, 丹羽祐斗, 松原貴子: 女性の月経周期と疼痛症状および内因性疼痛抑制機能の関係. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会 (栃木, 2024/07/20)
11. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: レギュラー運動は高齢者にも EIH 効果をもたらすか? 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会 (栃木, 2024/07/19)
12. 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 肩関節痛に対する運動と神経ブロックの併用効果-クラスター解析による治療反応性検証. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会 (栃木, 2024/07/19)
13. Maeda H, Kimura K, Yamaguchi S, Hattori T, Ohga S, Shimo K, Matsubara T: Relationship

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- between pain and endogenous pain modulatory system in patients with Parkinson's disease. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/06)
14. Yamaguchi S, Hattori T, Shimo K, Ohga S, Matsubara T: Decreased Endogenous Pain Modulation and Sarcopenia Reduced Exercise-Induced Hypoalgesia in Elderly. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/07)
 15. Ohga S, Hattori T, Shimo K, Matsubara T: Analgesic effects of electromyostimulation-induced muscle contraction on pain modulatory system. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/07)
 16. Hattori T, Shimo K, Ohga S, Matsubara T: Contribution of Structural Abnormalities and Sensitization to Movement-Evoked Pain in Osteoarthritis. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/08)
 17. Shimo K, Ohga S, Hattori T, Maruyama Y, Tanaka K, Matsubara T: Does a behavioral observation assessment of nociceptive pain reflect the intensity of stimuli? IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/08)
 18. 山田良, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: 脳卒中後肩関節痛の疼痛強度に関連する要因の検討. プログラム・抄録集, 第22回日本神経理学療法学会学術大会(福岡, 2024/09/29)
 19. 山田良, 桂祐一, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: 脳卒中後肩関節痛と末梢・中枢感作の関係性. Pain Research 39 (Supplement): S82, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/16)
 20. 前田創, 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: パーキンソン病の疼痛症状と中枢性疼痛抑制機能との関係: 媒介分析を用いた検討. Pain Research 39 (Supplement): S84, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/16)
 21. 桂祐一, 大賀智史, 下和弘, 服部貴文, 松原貴子: 脳卒中後 CRPS に対する継続運動による鎮痛効果. Pain Research 39 (Supplement): S84, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/16)
 22. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 女性のライフステージにおける疼痛症状の変化と身体活動量の関連. Pain Research 39 (Supplement): S91, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/16)
 23. 堂北絢郁, 服部貴文, 丹羽祐斗, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 体組成は内因性疼痛調節機能に影響するのか: 階層的クラスター解析による検証. Pain Research 39 (Supplement): S91, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
 24. 下和弘, 大賀智史, 服部貴文, 松原貴子: Eye-tracking 解析を用いた virtual low back pain 評価の試み. Pain Research 39 (Supplement): S97, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
 25. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: がんサバイバーの運動による疼痛緩和効果-メタアナ

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- リスシによる検討－. Pain Research 39 (Supplement) : S98, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
26. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者の運動誘発性鎮痛: 減退メカニズムと関連因子. Pain Research 39 (Supplement) : S99, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
27. 丸山佳輝, 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: 慢性腰痛に対する運動誘発性鎮痛とバリア因子の検討. Pain Research 39 (Supplement) : S100, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
28. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 更年期女性の疼痛症状・疼痛調節系と体組成は身体活動量増進による影響を受けるか? Pain Research 39 (Supplement) : S103, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
29. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 富澤孝太, 松原貴子: 早期 KOA の疼痛増悪メカニズム－MRI と QST による検討－. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S59, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/11/30)
30. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: 運動誘発性鎮痛の末梢機序の検討－骨格筋の果たす役割－. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S45, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/12/1)
31. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 女性のライフステージと疼痛特性－周期的疼痛と慢性疼痛の変遷－. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S73, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/12/1)
32. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 更年期女性の運動器疼痛症状と疼痛調節能および体組成・骨量との関係. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S73, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/12/1)
33. 山口修平, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: サルコペニア高齢者の疼痛感作と EIH 効果. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S86, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/12/1)

【講演】

1. 下和弘: 慢性疼痛に対する運動指導 説明のポイント. 令和6年度厚生労働省 慢性疼痛診療システム均てん化等事業－近畿地区－ (大阪/Web, 2024/10/20)
2. 下和弘: 慢性疼痛患者に対する運動療法. 日本ペインクリニック学会 第5回関西支部学術集会 (滋賀, 2024/10/26)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

森本 陽介 Yosuke MORIMOTO (理学療法学科 准教授)

【著書】

森本陽介. 1-2 意識レベルとバイタルサイン：図解理学療法技術ガイド第5版（市橋則明編）. 文光堂. 2024. p7-14.

【論文】

Ohtsubo T, Nozoe M, Kanai M, Kubo H, Ueno K, Morimoto Y. Association of Calf Circumference, Hand Grip Strength, and Physical Performance With Serious Adverse Events in Individuals With Subacute Stroke Hospitalized for Rehabilitation: An Observational Study. Arch Phys Med Rehabil 2024;S0003-9993(24)01267-X.

【学会発表】

菊池真菜, 原田知佳, 畠山淳司, 森本陽介, 佐浦隆一. 病前フレイルを有する敗血症患者の筋力とADLの推移. 第51回日本集中治療医学会学術集会（カナモトホール, ロイトン札幌, 札幌グランドホテル, ANA クラウンプラザホテル, 他, 北海道, 2024年3月14～16日）.

菊池真菜, 松尾知洋, 大坪拓朗, 柳瀬友喜, 赤岩秀則, 原田知佳, 畠山淳司, 森本陽介. 入院敗血症患者の大腿四頭筋と退院時BIの関連について（奨励賞受賞）. 日本集中治療医学会学術集会第8回関西支部（千里ライフサイエンスセンター, 大阪府, 2024年7月6日）.

松尾知洋, 山本梨央, 武原佑実, 大坪拓朗, 柳瀬友喜, 赤岩秀則, 菊池真菜, 上野勝弘, 宮本康祐, 小澤修一, 森本陽介. 回復期リハビリテーションが奏功したPICSを呈した重症COVID-19の1症例. 日本集中治療医学会学術集会第8回関西支部（千里ライフサイエンスセンター, 大阪府, 2024年7月6日）.

大坪拓朗, 松尾知洋, 柳瀬友喜, 上野勝弘, 小澤修一, 森本陽介. 回復期リハビリテーション病棟における循環器疾患患者の転院イベントに関連する因子の探索的研究（優秀演題賞）. 第30回日本心臓リハビリテーション学会学術集会（神戸国際展示場・神戸国際会議場, 兵庫県, 2024年7月13～14日）.

柳瀬友喜, 松尾知洋, 大坪拓朗, 上野勝弘, 佐々木真希, 剣物英子, 小澤修一, 森本陽介. 回復期リハビリテーション病棟における循環器疾患患者の特徴—サルコペニアの有無による比較—. 第30回日本心臓リハビリテーション学会学術集会（神戸国際展示場・神戸国際会議場, 兵庫県, 2024年7月

2024年1月～12月 教員別業績リスト

13～14日)

大坪拓朗, 野添匡史, 上野勝弘, 森本陽介, 小澤修一. 回復期高齢者における入院早期の身体活動量と機能改善との関連: 身体機能レベル別の検討. 第3回日本老年療法学会学術集会(札幌医科大学, 北海道, 2024年8月3～4日)

赤岩秀則, 高村竜一郎, 森本陽介. 長期入院及び死亡退院する高齢肺炎患者の特徴. 第10回日本呼吸理学療法学会学術大会(朱鷺メッセ, 新潟県, 2024年9月7～8日)

Tashiro D, Oki Y, Osaki T, Kakihana H, Morimoto Y. Characteristics of Instrumental Activities of Daily Living in community-dwelling older adults with respiratory sarcopenia in Japan. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 (札幌コンベンションセンター, 北海道, 2024年11月6～9日)

大坪拓朗, 野添匡史, 金居督之, 久保宏紀, 上野勝弘, 森本陽介, 小澤修一. 回復期脳卒中者における入院中の有害事象発生と関連する因子の検討. 第22回日本神経理学療法学会学術大会(福岡国際会議場, 福岡県, 2024年9月28～29日)

田代大佑, 冲侑大郎, 小野将英, 竹内楓, 尾寄遠見, 柿花宏信, 森本陽介. 腹部隆起運動測定波形の可視化による呼吸バイオフィードバック効果の検証. 第34回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会(名古屋国際会議場, 愛知県, 2024年11月15～16日)

松尾知洋, 大坪拓朗, 松林和矢, 柳瀬友喜, 赤岩秀則, 菊池真菜, 上野勝弘, 小澤修一, 森本陽介. 回復期リハビリテーション病棟における高齢患者に対する心臓リハビリテーションの実態調査(一般演題優秀セッション賞). 第8回日本循環器理学療法学会学術大会(仙台国際センター, 宮城県, 2024年11月23～24日).

大坪拓朗, 松尾知洋, 柳瀬友喜, 赤岩秀則, 菊池真菜, 上野勝弘, 小澤修一, 森本陽介. ICU-AWを合併した重症心筋梗塞患者が自宅復帰を達成した回復期リハビリテーションの成功体験: 症例報告(一般演題優秀セッション賞). 第8回日本循環器理学療法学会学術大会(仙台国際センター, 宮城県, 2024年11月23～24日).

菊池真菜, 森本陽介, 松尾知洋, 大坪拓朗, 柳瀬友喜, 赤岩秀則, 原田知佳, 畠山淳司. 病前フレイルを有する敗血症患者の筋力とADLの特徴. 第8回日本循環器理学療法学会学術大会(仙台国際センタ

2024年1月～12月 教員別業績リスト

一，宮城県，2024年11月23～24日）。

柳瀬友喜，松尾知洋，大坪拓朗，赤岩秀則，菊池真菜，上野勝弘，真保亜衣，佐々木真希，剣物英子，小澤修一，森本陽介。回復期リハビリテーション病棟における循環器疾患患者の身体機能やADLの特徴—エネルギー摂取量別の比較—（一般演題優秀セッション賞）。第8回日本循環器理学療法学会学術大会（仙台国際センター，宮城県，2024年11月23～24日）。

【講演】

森本陽介。高齢リハビリテーション対象者に多い併存疾患を知る—循環器疾患と認知症について—。日赤第31回日本赤十字リハビリテーション協会研修会（オンライン開催，2024年6月22日）

小川 真寛 Masahiro OGAWA（作業療法学科 准教授）

【著書】

1. 小川真寛，寺岡睦。作業療法のプロセスモデル：OCP・OFP・OBPで学ぶ作業療法実践の教科書（京極真，藤本一博，小川真寛，編）。メジカルビュー社。東京。2024。22-35.
2. 小川真寛。作業療法評価 観察：OCP・OFP・OBPで学ぶ作業療法実践の教科書（京極真，藤本一博，小川真寛，編）。メジカルビュー社。東京。2024。74-92.
3. 小川真寛。理論を用いた介入のポイント：OCP・OFP・OBPで学ぶ作業療法実践の教科書（京極真，藤本一博，小川真寛，編）。メジカルビュー社。東京。2024。118-126.
4. 小川真寛。Q&A：OCP・OFP・OBPで学ぶ作業療法実践の教科書（京極真，藤本一博，小川真寛，編）。メジカルビュー社。東京。2024。232-233.
5. 小川真寛。認知症ケア：FitNs 認知症ナース（井上真一郎，編）メディカ出版。大阪。2024。オンライン学習ツール4項目。

【論文】

1. 松本真奈，伊藤千歳，西田征治，小川真寛。活動の質評価法（A-QOA）との既存評価との関連性—大学生を対象としたトランプゲームを用いた検討—。神戸学院総合リハビリテーション研究 2024；19（2）：e35-e42.

2024年1月～12月 教員別業績リスト

2. 小川真寛. 認知症高齢者の生活を豊かにする活動に基づく観察視点・支援ポイント. 臨床老年看護 2024 ; 31 (2) : 17-21.

【学会発表】

1. 小川真寛, 白井はる奈, 西田征治, 坂本千晶. A-QOA 講習会の臨床実践能力に対する教育効果の検証. 第9回日本臨床作業療法学会 (東京都豊島区, 2024/3/9-10)
2. 佐々木和佳, 小川真寛. 認知症患者の音楽療法場面における個々への配慮と活動の質について～A-QOAを用いた検討～. 第25回日本認知症ケア学会大会 (東京都千代田区, 2024/6/15-16)
3. 坂本千晶, 小川真寛, 西田征治, 白井はる奈. 活動の質評価法 (Assessment of Quality of Activities : A-QOA) の教育効果—事例を通じた活動の質と感情的 well-being の変化—. 第25回日本認知症ケア学会大会 (東京都千代田区, 2024/6/15-16)
4. 小橋美月, 小川真寛, 田代大祐, 大瀧誠, 梶田博之, 加藤雅子, 塚原正志, 森川孝子, 中前智通, 藤原瑞穂, 大庭潤平. 地域在住高齢者の1年間の生活機能の変化と IADL 実施状況の関連—生活機能維持・向上に対する旅行の有用性—. 日本老年行動科学会第26回東京大会 (調布市, 2024/9/28-29)
5. Yamaguchi T, Ogawa M. Effects of meaningful activities selected using Assessment of Quality of Activities (A-QOA) on stress in older patients with dementia: a preliminary study using salivary amylase monitoring. 8th Asian-Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo, 2024/11/6-8)
6. Sakamoto C, Nishida S, Ogawa M, Shirai H. Can the Assessment of Quality of Activities measure emotional wellbeing in people with dementia? -a case study. 8th Asian-Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo, 2024/11/6-8)
7. Hosoda Y, Deguchi R, Yamada K, Kobashi M, Ogawa M. Meaning of the term physical activity for community-dwelling older adults. 8th Asian-Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo, 2024/11/6-8)
8. Kobashi M, Ogawa M, Tashiro D, Okayama T, Oba J. One-year changes in the physical

2024年1月～12月 教員別業績リスト

activities of daily living and daily function in community-dwelling older adults. 8th Asian-Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo, 2024/11/6-8)

9. Okayama T, Oba J, Ogawa M, Tashiro D, Kobashi M. Characteristics of participation in community activities among community-dwelling older adults; comparison of two groups, divided by age and gender. 8th Asian-Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo, 2024/11/6-8)
10. Ogawa M, Shirai H, Sakamoto C, Nishida S. Effectiveness of education on Assessment of Quality of Activities on the competency of occupational therapists-Education method to lead to better occupation from a client centered perspective. 8th Asian-Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo, 2024/11/6-8)
11. Shirai H, Kusano Y, Ogawa M, Sakamoto C, Nishida S, Shirai S. Can A-QOA measure children's occupational engagement? 8th Asian-Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo, 2024/11/6-8)
12. 米山智彦, 小川真寛, 脇野俊貴, 白井はる奈. 作業選択における Assessment of Quality of Activities (A-QOA)の利用の有効性. 一緑内障の影響で趣味を行えなくなっていた事例一. 第58回日本作業療法学会(札幌市, 2024/11/9-10)
13. 高田夏美, 小田美穂, 小川真寛. 園芸療法によって認知症患者の意欲は向上するか. 第58回日本作業療法学会(札幌市, 2024/11/9-10)
14. 綾 里穂, 西田征治, 小川真寛. 活動の質評価法(A-QOA)の臨床での活用方法と課題—アンケートによる量的分析—. 第58回日本作業療法学会(札幌市, 2024/11/9-10)

【講演】

1. 小川真寛. 神戸学院大学における OSCE とその課題. 2024年日本作業療法教育学会主催 オンライン教育セミナーとワークショップ 第1回(Web, 2024/1/20)
2. 小川真寛. 認知症リハ 認知症のある人への作業に焦点を当てた支援方法～A-QOAを使った評価方法～. エポックセミナー(Web, 2024/2/8)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

3. 小川真寛. 認知症高齢者のための活動の質評価法（A-QOA）の開発. 神戸学院大学 第6回三学部合同研究発表会（神戸市中区, 2024/2/27）
4. 小川真寛. 心の動く活動の“いい感じ”を引き出す20の支援ポイントの作成背景. デイサービスけやき通り宗像 勉強会（福岡県宗像市, 2024/3/13）
5. 小川真寛. 認知症のある人への作業に焦点を当てた作業療法～A-QOAの紹介～. 茅ヶ崎新北稜病院 勉強会（Web, 2024/5/23）
6. 小川真寛. 作業実践のための観察. 湘南 OT 交流会 作業実践のための OCP 講演（Web, 2024/8/24）
7. 小川真寛. 作業療法実践におけるリーズニングの意義と枠組み. 琵琶湖中央リハビリテーション病院 勉強会（滋賀県大津市, 2024/8/30）
8. 小川真寛. ニーズの把握が難しいクライアントの「意味のある活動」を支援するために～A-QOAについて～. 神奈川県作業療法士会 学術部主催 研修（Web, 2024/9/8）
9. 小川真寛. 認知症患者様の活動に対するアプローチ～活動・作業の観察から読み解く～. エポックセミナー（Web, 2023/9/20）
10. 小川真寛. 認知症のある対象者に対するパーソンセンタードから考える作業療法—観察評価と作業の支援—. イムス板橋リハビリテーション病院 勉強会（東京都板橋区, 2024/9/27）
11. 小川真寛. 認知症のある人への作業療法アプローチの視点とプロセス—プール活動レベルの紹介—. 和歌山県作業療法士会 認知症支援委員会主催認知症ケアに携わる専門職のリハビリテーション研修会（Web, 2024/10/17）
12. Ogawa M, Asano T, Hard N, Nishida S, Kawai A. Introducing innovative practical tools to facilitate people with dementia to engage in occupation. Scientific workshop. 8th Asian-Pacific Occupational Therapy Congress (Sapporo, 2024/11/6-8)
13. 小川真寛. 作業療法士のための5つの臨床推論で学ぶ作業療法のリーズニング. エポックセミナー—（Web, 2024/12/27）

2024年1月～12月 教員別業績リスト

伊藤 隆博 Takahiro ITO (社会リハビリテーション学科 准教授)**【著書】**

伊藤隆博編集 『医療福祉相談ガイド』 追録 106・107 合併号 中央法規出版、2024年

【論文】

松溪智恵、松永繁、鈴木力雄、伊藤隆博、高木善史、菅野道生. 一貫性のある実習指導に向けたソーシャルワーク実習指導 I の標準化への取り組み 岩手県立大学「社会福祉学部紀要」 第 26 巻 P96-P105

伊藤隆博、瀧井美緒. 熱海市伊豆山土石流災害を通じた災害派遣福祉チーム活動のリーダーの役割とリーダーシップ要件の分析 都市防災研究論文集 11 巻 p7-12

【学会発表】

伊藤隆博、瀧井美緒. 「熱海市伊豆山土石流災害における災害派遣福祉チーム (DWAT) の活動とチームリーダーの役割」 第 29 回日本災害医学会総会・学術集会、(京都, 2024/2/23)

【講演】

令和 5 年度市町村職員等在宅医療介護連携研修会 (岩手, 2024/2/8)

第 19 回大阪医療ソーシャルワーカー協会 定例総会 「能登半島地震における福祉支援活動の内容」 (大阪, 2024/5/19)

岩手県医療ソーシャルワーカー協会「医療ソーシャルワーカー基礎研修 支援方法論」(岩手, 2024/10/19)

令和 6 年度第 3 回奈良 DWAT 研修「避難所実践研修～基礎編～」(奈良, 2024/12/1)

三重県医療ソーシャルワーカー協会「医療ソーシャルワーカーに必要な交渉術」(三重, 2024/12/14)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

九十九 綾子 Ayako TSUKUMO（社会リハビリテーション学科 准教授）

【講演】

九十九綾子. 具体的な指導・助言の方法を学ぶ. 社会福祉法人神戸福生会（兵庫、2024/08/29）

九十九綾子. ボランティアリーダーとしてのコミュニケーション. 神戸マラソンボランティアリーダー研修会兼セミナー（兵庫、2024/10/12）

九十九綾子. 子どもと保護者のとらえ方と支援方法. 阪南市中学校教育研究会（大阪、2024/11/7）

九十九綾子. 子どもとの距離感～自立に向けた関わりかた～. 貝塚市立中央公民館（大阪、2024/12/16）

藤田 裕一 Yuichi FUJITA（社会リハビリテーション学科 准教授）

【学会発表】

上手由香、綾城初穂、奥本京子、藤田裕一. 質的心理学研究編集委員会企画シンポジウム 『コンフリクト』と向き合う. 日本質的心理学会第21回大会（東京都、2024/10/19-20）

【講演】

藤田裕一. 2024年度神戸いのちの電話連続公開講座「アドラー心理学とストレングスを生かした相談支援」（神戸市、2024/5/25）

【その他】

古井克憲、藤田裕一. 質的心理学研究第24号特集 「障害」と「病い」をめぐる質的研究 責任編集委員

大久保 吏司 Satoshi OKUBO（理学療法学科 講師）

【学会発表】

玄田 邦住 大久保 吏司 田邊 誠. 小学生柔道選手を対象とした肘関節検診（第2報）. 第35回日本臨床スポーツ医学会学術集. 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（新潟県）. 2024年11月16～17日.

立花 亮、上田 雄也、瀧口 耕平、大久保 吏司、渡邊 秀、山下 貴大、荒木 大輔. 大腿四頭筋腱を用

2024年1月～12月 教員別業績リスト

いた膝前十字靭帯再建術後において術後3ヶ月の膝関節伸展筋力との関連因子の検討. 第35回日本臨床スポーツ医学会学術集. 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター(新潟県). 2024年11月16～17日.

金井 謙介 Kensuke KANAI (社会リハビリテーション学科 講師)**【学会発表】**

金井謙介. 「松葉杖使用者が電動車椅子を併用することで見えてきた意義と課題」. 第38回リハ工学カンファレンス in 東海、第38回リハ工学カンファレンス講演論文集: 213-214 (日本福祉大学東海キャンパス、東海市、2024/8/23～25)

金井謙介、曾和具之. 「頸髄損傷者の災害時における避難と備えに対する意識」. 第18回アジアデザイン文化学会国際研究発表大会、アジアデザイン文化学会研究発表概要論文集第5巻: 365-366 (神戸芸術工科大学、神戸市、2024/9/21～22)

【講演】

金井謙介. 「高齢者の環境整備と制度～バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインの視点から～」. 視覚障害生活訓練等指導者養成課程(厚生労働省委託事業). 社会福祉法人日本ライトハウス視覚障害リハビリテーションセンター(大阪市、2024/8/19)

香山 芳範 Yoshinori KAYAMA (社会リハビリテーション学科 講師)**【論文】**

香山芳範. 中核機関に期待されるコーディネート機能とは-成年後見制度の利用促進及び中核機関に関する専門職へのアンケート調査より-. 厚生福祉. 2024:6864:2-8.

香山芳範. 制度の概要と改正の背景-旧制度から現行制度へ-. 厚生福祉. 2024:6898:2-7.

香山芳範. 中核機関とは何か(上)-必要な人が利用できるようにするために-. 厚生福祉. 2024:6913:2-8.

香山芳範. 中核機関とは何か(下)-「第2期基本計画」の現状と課題-. 厚生福祉. 2024:6916:2-5.

2024年1月～12月 教員別業績リスト

香山芳範.後藤謹武,樋口直樹.類似事業判別に向けたアセスメントシートの活用と有用性-業務効率化に貢献、兵庫県明石市と大阪府茨木市の事例より-.厚生福祉.2024:6937:2-9.

【学会発表】

香山芳範:市民後見人が発揮する弱いアドボケートとは-A市後見支援センターの「A市市民後見人養成講座」のアンケート調査データ 2017-2023 の計量・質的分析-第72回日本社会福祉学会 2024年10月27日 日本福祉大学.

香山芳範:市民後見人の特性と地域共生社会の実現-市民後見人が展開する後見業務と地域への影響-第30回日本福祉教育・ボランティア学習学会 2024年11月24日 日本社会事業大学.

【講演】

香山芳範.第7回中央研修会(成年後見研修会)(兵庫県司法書士会館、2024/1/20)

香山芳範.朝霧小学校地区社会福祉協議会 福祉セミナー (あさぎりおおくら地域総合支援センター、2024/2/3)

香山芳範.成年後見研修会(茨木市社会福祉協議会、2024/2/6)

香山芳範.『成年後見制度と日常生活自立支援事業についてアセスメントシートを活用して考える』(茨木市社会福祉協議会、2024/3/15)

香山芳範.『権利擁護と意思決定支援～本人らしい生活の実現～』(一般社団法人くらし支援ネット、2024/4/19)

香山芳範.『神戸学院大学×大丸神戸店「もとまち こども大学」スポーツから学ぶユニバーサルな社会～パラスポーツを体験してみよう～』(兵庫県、大丸神戸店、神戸学院大学 2024/4/27)

香山芳範.権利擁護支援に関する研修会(茨木市社会福祉協議会、2024/6/21)

香山芳範.権利擁護支援に関する社協職員研修(茨木市社会福祉協議会、2024/7/12)

香山芳範.市民向け講座～初めての方でもわかりやすい～あなたやあなたの周りの方の権利を守る成年後見制度と日常生活自立支援事業(茨木市社会福祉協議会、2024/8/24)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

香山芳範.市民後見人バンク登録者研修会「市民後見人の理念と活動について」(大阪市社会福祉協議会、2024/9/14)

香山芳範.令和6年度 丹波市 介護支援専門員部会 全体研修会「家族支援(アセスメント)について」(丹波市介護保険サービス事業者協議会、2024/9/27)

香山芳範.令和6年度 明石市 市民後見人養成講座「市民後見人の学びと価値」(明石市社会福祉協議会、2024/10/5)

【その他】

香山芳範.委員長.2023年度明石市後見支援センター第1回ワーキング会議.(明石市社会福祉協議会、2024/2/1)

香山芳範.運営委員長.2024年度権利擁護相談センターいばらき第1回運営委員会.(茨木市社会福祉協議会、2024/3/15)

香山芳範.運営委員長.2024年度権利擁護相談センターいばらき第2回運営委員会.(茨木市社会福祉協議会、2024/6/21)

香山芳範.司会.2024年度第23回全国研究【京都】大会 個別報告 第2セッション 医療・福祉.(日本地域政策学会、2024/7/6)

香山芳範.運営委員長.2024年度明石市後見支援センター第1回運営委員会.(明石市社会福祉協議会、2024/10/11)

香山芳範.運営委員長.2024年度権利擁護相談センターいばらき第3回運営委員会.(茨木市社会福祉協議会、2024/11/22)

香山芳範.司会.2024年度同志社社会福祉学会 年次大会 自由研究発表 (同志社社会福祉学会、2024/12/14)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

大賀 智史 Satoshi OGA (理学療法学科 助教)

【論文】

(原著)

1. Hattori T, Ohga S, Shimo K, Matsubara T. Pathology of knee osteoarthritis pain: contribution of joint structural changes and pain sensitization to movement-evoked pain in knee osteoarthritis. *Pain Rep.* 2024;9(1):e1124. doi: 10.1097/PR9.0000000000001124. PMID: 38274197
2. Nakada K, Shimo K, Ohga S, Matsubara T. Characteristic Behaviors of Pain During Movement in the Older Individuals with Dementia. *J Pain Res.* 2024;17:865-871. doi: 10.2147/JPR.S424889. PMID: 38482485
3. Katsura Y, Ohga S, Shimo K, Hattori T, Yamada T, Matsubara T. A decision tree algorithm to identify predictors of post-stroke complex regional pain syndrome. *Sci Rep.* 2024;14(1):9893. doi: 10.1038/s41598-024-60597-3. PMID: 38689114
4. Niwa Y, Shimo K, Ohga S, Hattori T, Dokita A, Matsubara T. Effects of motor imagery using virtual reality on pain sensitivity and affect in healthy individuals: A prospective randomized crossover study. *Pain Med.* 2024:pnae043. doi: 10.1093/pm/pnae043. PMID: 38833679.
5. Ohga S, Hattori T, Shimo K, Maeda H, Matsubara T. Impact of electrical muscle stimulation-induced muscle contractions on endogenous pain modulatory system: a quantitative sensory testing evaluation. *BMC Musculoskelet Disord.* 2024;25(1):1077. doi: 10.1186/s12891-024-08154-x. PMID: 39731029.

(総説)

1. 服部貴文, 大賀智史, 松原貴子. 慢性疼痛のメカニズムとその評価. *Jpn J Rehabil Med.* 2024;61(11):1020-1027.

【学会発表】

1. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者の運動誘発性鎮痛のバリア因子－内因性疼痛調節機能とサルコペニアに着目して－. 第53回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集: 107, 2024. 第53回日本慢性疼痛学会(栃木, 2024/02/24)
2. 山田良, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 脳卒中肩関節痛の発症および重症度に関する要因の検討. *Pain Rehabilitation* 14(2): 72, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

3. 成瀬宏司, 磯村隆倫, 小林豊, 大賀智史, 松原貴子: 消化器がん患者の術後遷延痛のリスク因子の検討－トータルペイン概念に基づく包括的な分析－. Pain Rehabilitation 14(2): 75, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
4. 前田創, 徳岡秀紀, 木村健一, 山口修平, 山田良, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: パーキンソン病患者の疼痛と内因性疼痛調節機能の関係性. Pain Rehabilitation 14(2): 76, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
5. 堂北絢郁, 丹羽祐斗, 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 女性ホルモンが疼痛症状および内因性疼痛調節機能に及ぼす影響. Pain Rehabilitation 14(2): 88, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
6. 丸山佳輝, 服部貴文, 大賀智史, 西海望武, 田中浩一, 松原貴子: 慢性腰痛患者の運動誘発性鎮痛のバリア因子に関する予備的検討. Pain Rehabilitation 14(2): 89, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
7. 下和弘, 堂北絢郁, 山口修平, 服部貴文, 大賀智史, 松原貴子: 体組成と痛覚感受性との関係: 加齢による体組成変化に着目した検討. Pain Rehabilitation 14(2): 96, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
8. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: EMSによる筋収縮の内因性疼痛調節系への影響－刺激強度の違いによる検討－. Pain Rehabilitation 14(2): 101, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
9. 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 変形性膝関節症に対する行動変容アプローチの効果とバリア因子－疼痛感作指標を含めた検証－. Pain Rehabilitation 14(2): 104, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
10. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者のレギュラー運動による鎮痛効果－縦断的検証－. Pain Rehabilitation 14(2): 104, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
11. 桂祐一, 服部貴文, 山田良, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: レギュラー運動による脳卒中片麻痺患者の痛覚感受性低減効果に関する縦断的検討. Pain Rehabilitation 14(2): 108, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
12. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 越川桂, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛における疼痛感作と体組成の関係. Pain Rehabilitation 14(2): 115, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
13. 堂北絢郁, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 山口修平, 丹羽祐斗, 松原貴子: 女性の月経周期と疼痛症状および内因性疼痛抑制機能の関係. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/20)
14. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: レギュラー運動は高齢者にも EIH 効果をも

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- たらすか?日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第 58 回学術集会 (栃木, 2024/07/19)
15. 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 肩関節痛に対する運動と神経ブロックの併用効果-クラスター解析による治療反応性検証. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第 58 回学術集会 (栃木, 2024/07/19)
 16. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛に対する長期運動療法の効果-QSTによる疼痛感作の検証-. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第 58 回学術集会 (栃木, 2024/07/19)
 17. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 運動療法とオピオイド鎮痛薬の併用介入による鎮痛効果の検証-症例集積. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第 58 回学術集会 (栃木, 2024/07/19)
 18. 白木大吾, 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 体組成は疼痛感作に影響するか? 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第 58 回学術集会 (栃木, 2024/07/19)
 19. Maeda H, Kimura K, Yamaguchi S, Hattori T, Ohga S, Shimo K, Matsubara T: Relationship between pain and endogenous pain modulatory system in patients with Parkinson's disease. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/06)
 20. Yamaguchi S, Hattori T, Shimo K, Ohga S, Matsubara T: Decreased Endogenous Pain Modulation and Sarcopenia Reduced Exercise-Induced Hypoalgesia in Elderly. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/07)
 21. Ohga S, Hattori T, Shimo K, Matsubara T: Analgesic effects of electromyostimulation-induced muscle contraction on pain modulatory system. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/07)
 22. Hattori T, Shimo K, Ohga S, Matsubara T: Contribution of Structural Abnormalities and Sensitization to Movement-Evoked Pain in Osteoarthritis. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/08)
 23. Shimo K, Ohga S, Hattori T, Maruyama Y, Tanaka K, Matsubara T: Does a behavioral observation assessment of nociceptive pain reflect the intensity of stimuli? IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/08)
 24. 山田良, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: 脳卒中後肩関節痛の疼痛強度に関連する要因の検討. プログラム・抄録集, 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会 (福岡, 2024/09/29)
 25. 山田良, 桂祐一, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: 脳卒中後肩関節痛と末梢・中枢感作の関係性. Pain Research 39 (Supplement) : S82, 2024. 第 46 回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

26. 前田創, 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: パーキンソン病の疼痛症状と中枢性疼痛抑制機能との関係: 媒介分析を用いた検討. Pain Research 39 (Supplement): S84, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/16)
27. 桂祐一, 大賀智史, 下和弘, 服部貴文, 松原貴子: 脳卒中後 CRPS に対する継続運動による鎮痛効果. Pain Research 39(Supplement): S84, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/16)
28. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 女性のライフステージにおける疼痛症状の変化と身体活動量の関連. Pain Research 39 (Supplement): S91, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/16)
29. 堂北絢郁, 服部貴文, 丹羽祐斗, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 体組成は内因性疼痛調節機能に影響するのか: 階層的クラスター解析による検証. Pain Research 39 (Supplement): S91, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
30. 下和弘, 大賀智史, 服部貴文, 松原貴子: Eye-tracking 解析を用いた virtual low back pain 評価の試み. Pain Research 39 (Supplement): S97, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
31. 成瀬宏司, 平岡大輝, 山下大輔, 西尾翔大, 浅見真帆, 佐光真美, 磯村隆倫, 小林豊, 大賀智史, 松原貴子: 腹腔鏡術後大腸がん患者の術後急性痛の病態. Pain Research 39 (Supplement): S98, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
32. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: がんサバイバーの運動による疼痛緩和効果-メタアナリシスによる検討-. Pain Research 39 (Supplement): S98, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
33. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者の運動誘発性鎮痛: 減退メカニズムと関連因子. Pain Research 39 (Supplement): S99, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
34. 丸山佳輝, 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: 慢性腰痛に対する運動誘発性鎮痛とバリア因子の検討. Pain Research 39 (Supplement): S100, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
35. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛の多角的治療における低強度運動の継続的鎮痛効果-運動および神経ブロック頻度の影響. Pain Research 39 (Supplement): S100, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
36. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 更年期女性の疼痛症状・疼痛調節系と体組成は身体活動量増進による影響を受けるか? Pain Research 39 (Supplement): S103, 2024. 第46回日本疼痛学会(東京, 2024/11/17)
37. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 富澤孝太, 松原貴子: 早期 KOA の疼痛増悪メカニズム-MRI と

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- QSTによる検討－. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S59, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会（東京, 2024/11/30）
38. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子 : 運動誘発性鎮痛の末梢機序の検討－骨格筋の果たす役割－. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S45, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会（東京, 2024/12/1）
39. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子 : 女性のライフステージと疼痛特性－周期的疼痛と慢性疼痛の変遷－. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S73, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会（東京, 2024/12/1）
40. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子 : 更年期女性の運動器疼痛症状と疼痛調節能および体組成・骨量との関係. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S73, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会（東京, 2024/12/1）
41. 山口修平, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子 : サルコペニア高齢者の疼痛感作と EIH 効果. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S86, 2024. 第17回日本運動器疼痛学会（東京, 2024/12/1）

柿花 宏信 Hironobu KAKIHANA（理学療法学科 助教）
【論文】

・ Medical and exercise consultation use for low back and knee pain among cardiovascular mass screening population: A cross-sectional study. Jinnouchi H, Kiyama M, Kitamura A, Matsudaira K, Kakihana H, Hayama M, Muraki I, Honda E, Okada T, Yamagishi K, Iso H Preventive medicine reports; 41:102684

【学会発表】

・ 慢性腰痛・膝痛とフレイルとの関連とその機序に関する横断研究 : CIRCS 研究. 第34回 日本疫学会学術総会（滋賀）. 柿花宏信、陣内裕成、北村明彦、村木功、羽山実奈、山岸良匡、今野弘規、岡田武夫、木山昌彦、磯博康.

・ 地域住民における日常動作の身体予備能に及ぼす慢性膝痛の影響 : 横断研究. 第83回日本公衆衛生学会総会（北海道）. 柿花宏信、陣内裕成、北村明彦、村木功、羽山実奈、山岸良匡、今野弘規、岡田武夫、木山昌彦、磯博康.

・ 慢性腰痛に対するセルフマネジメント強化と内因性鎮痛との関連 : 無作為化比較試験. 第83回日本

2024年1月～12月 教員別業績リスト

公衆衛生学会総会(北海道) . 陣内裕成 松平浩、柿花宏信、北村明彦、山岸良匡、羽山実奈、村木功、石原真穂、今野弘規、岡田武夫、木山昌彦、磯博康.

服部 貴文 Takafumi HATTORI (理学療法学科 助教)

【論文】

(原著)

1. Hattori T, Ohga S, Shimo K, Matsubara T. Pathology of knee osteoarthritis pain: contribution of joint structural changes and pain sensitization to movement-evoked pain in knee osteoarthritis. *Pain Rep.* 2024;9(1):e1124. doi: 10.1097/PR9.0000000000001124. PMID: 38274197
2. Katsura Y, Ohga S, Shimo K, Hattori T, Yamada T, Matsubara T. A decision tree algorithm to identify predictors of post-stroke complex regional pain syndrome. *Sci Rep.* 2024;14(1):9893. doi: 10.1038/s41598-024-60597-3. PMID: 38689114
3. Niwa Y, Shimo K, Ohga S, Hattori T, Dokita A, Matsubara T. Effects of motor imagery using virtual reality on pain sensitivity and affect in healthy individuals: A prospective randomized crossover study. *Pain Med.* 2024:pnae043. doi: 10.1093/pm/pnae043. PMID: 38833679.
4. Ohga S, Hattori T, Shimo K, Maeda H, Matsubara T. Impact of electrical muscle stimulation-induced muscle contractions on endogenous pain modulatory system: a quantitative sensory testing evaluation. *BMC Musculoskelet Disord.* 2024;25(1):1077. doi: 10.1186/s12891-024-08154-x. PMID: 39731029.

(総説)

1. 服部貴文, 松原貴子. -理学療法士が総合的に捉える視点(水準と領域のマトリックス)-疼痛. *PTジャーナル.* 2024;58(2):201-206.
2. 服部貴文, 松原貴子. 虚血肢の治療 理学療法. *ペインクリニック.* 2024;45(5):483-490.
3. 服部貴文, 松原貴子. 慢性腰痛に対する運動療法(1) 運動誘発性鎮痛の神経メカニズムと運動処方の実際. *MB Orthopaedics.* 2024;37(6):50-58.
4. 服部貴文, 大賀智史, 松原貴子. 慢性疼痛のメカニズムとその評価. *Jpn J Rehabil Med.* 2024;61(11):1020-1027.

2024年1月～12月 教員別業績リスト

【学会発表】

1. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者の運動誘発性鎮痛のバリア因子－内因性疼痛調節機能とサルコペニアに着目して－. 第53回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集: 107, 2024. 第53回日本慢性疼痛学会(栃木, 2024/02/24)
2. 服部貴文, 松原貴子, 城由起子, 尾張慶子, 丹羽英美, 永井修平, 西須大徳, 牛田享: 複合性局所疼痛症候群症例に対する段階的運動療法の効果－定量的感覚検査による検証－. 第53回日本慢性疼痛学会プログラム・抄録集: 167, 2024. 第53回日本慢性疼痛学会(栃木, 2024/02/24)
3. 本田太一, 服部貴文, 坂野裕洋: 変形性膝関節症における疼痛教育への関心度と病態特性の関係－臨床応用を目的とした予備的研究. 第32回愛知県理学療法学会(愛知, 2024/05/19)
4. 山田良, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 脳卒中肩関節痛の発症および重症度に関する要因の検討. Pain Rehabilitation 14(2): 72, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
5. 前田創, 徳岡秀紀, 木村健一, 山口修平, 山田良, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: パーキンソン病患者の疼痛と内因性疼痛調節機能の関係性. Pain Rehabilitation 14(2): 76, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
6. 運天優拓, 多和田倫也, 山口貴恵, 比嘉康敏, 服部貴文, 松原貴子, 平良豊: ギプス固定を繰り返し重篤化したCRPSに対し神経ブロックを併用した段階的運動療法が奏効した症例. Pain Rehabilitation 14(2): 78, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
7. 堂北絢郁, 丹羽祐斗, 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 女性ホルモンが疼痛症状および内因性疼痛調節機能に及ぼす影響. Pain Rehabilitation 14(2): 88, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
8. 丸山佳輝, 服部貴文, 大賀智史, 西海望武, 田中浩一, 松原貴子: 慢性腰痛患者の運動誘発性鎮痛のバリア因子に関する予備的検討. Pain Rehabilitation 14(2): 89, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/08)
9. 下和弘, 堂北絢郁, 山口修平, 服部貴文, 大賀智史, 松原貴子: 体組成と痛覚感受性の関係: 加齢による体組成変化に着目した検討. Pain Rehabilitation 14(2): 96, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
10. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: EMSによる筋収縮の内因性疼痛調節系への影響－刺激強度の違いによる検討－. Pain Rehabilitation 14(2): 101, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
11. 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 変形性膝関節症に対する行動変容アプローチの効果とバリア因子－疼痛感作指標を含めた検証－. Pain Rehabilitation 14(2): 104, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

12. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者のレギュラー運動による鎮痛効果－縦断的検証－. Pain Rehabilitation 14(2): 104, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
13. 桂祐一, 服部貴文, 山田良, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: レギュラー運動による脳卒中片麻痺患者の痛覚感受性低減効果に関する縦断的検討. Pain Rehabilitation 14(2): 108, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
14. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 越川桂, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛における疼痛感作と体組成の関係. Pain Rehabilitation 14(2): 115, 2024. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会(長崎, 2024/06/09)
15. 堂北絢郁, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 山口修平, 丹羽祐斗, 松原貴子: 女性の月経周期と疼痛症状および内因性疼痛抑制機能の関係. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/20)
16. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: レギュラー運動は高齢者にも EIH 効果をもたらすか? 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
17. 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 肩関節痛に対する運動と神経ブロックの併用効果－クラスター解析による治療反応性検証. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
18. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛に対する長期運動療法の効果－QSTによる疼痛感作の検証－. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
19. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 運動療法とオピオイド鎮痛薬の併用介入による鎮痛効果の検証－症例集積. 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
20. 白木大吾, 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 体組成は疼痛感作に影響するか? 日本ペインクリニック学会誌. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会(栃木, 2024/07/19)
21. Maeda H, Kimura K, Yamaguchi S, Hattori T, Ohga S, Shimo K, Matsubara T: Relationship between pain and endogenous pain modulatory system in patients with Parkinson's disease. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/06)
22. Yamaguchi S, Hattori T, Shimo K, Ohga S, Matsubara T: Decreased Endogenous Pain Modulation and Sarcopenia Reduced Exercise-Induced Hypoalgesia in Elderly. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/07)
23. Ohga S, Hattori T, Shimo K, Matsubara T: Analgesic effects of electromyostimulation-

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- induced muscle contraction on pain modulatory system. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/07)
24. Hattori T, Shimo K, Ohga S, Matsubara T: Contribution of Structural Abnormalities and Sensitization to Movement-Evoked Pain in Osteoarthritis. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/08)
25. Shimo K, Ohga S, Hattori T, Maruyama Y, Tanaka K, Matsubara T: Does a behavioral observation assessment of nociceptive pain reflect the intensity of stimuli? IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/08)
26. Matsubara T, Hattori T, Shiro Y, Owari K, Niwa H, Tanaka C, Nagai S, Saisu H, Ushida T: Characteristics of neuronal sensitization to pain in fibromyalgia and localized musculoskeletal pain. IASP 2024 World Congress on Pain (Amsterdam, 2024/08/09)
27. 山田良, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: 脳卒中後肩関節痛の疼痛強度に関連する要因の検討. プログラム・抄録集, 第22回日本神経理学療法学会学術大会 (福岡, 2024/09/29)
28. 山田良, 桂祐一, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: 脳卒中後肩関節痛と末梢・中枢感作の関係性. Pain Research 39 (Supplement) : S82, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)
29. 前田創, 服部貴文, 山口修平, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: パーキンソン病の疼痛症状と中枢性疼痛抑制機能との関係: 媒介分析を用いた検討. Pain Research 39 (Supplement) : S84, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)
30. 桂祐一, 大賀智史, 下和弘, 服部貴文, 松原貴子: 脳卒中後 CRPS に対する継続運動による鎮痛効果. Pain Research 39 (Supplement) : S84, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)
31. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 女性のライフステージにおける疼痛症状の変化と身体活動量の関連. Pain Research 39 (Supplement) : S91, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/16)
32. 堂北絢郁, 服部貴文, 丹羽祐斗, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 体組成は内因性疼痛調節機能に影響するのか: 階層的クラスター解析による検証. Pain Research 39 (Supplement) : S91, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
33. 下和弘, 大賀智史, 服部貴文, 松原貴子: Eye-tracking 解析を用いた virtual low back pain 評価の試み. Pain Research 39 (Supplement) : S97, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
34. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: がんサバイバーの運動による疼痛緩和効果 - メタアナリシスによる検討 -. Pain Research 39 (Supplement) : S98, 2024. 第46回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
35. 山口修平, 服部貴文, 下和弘, 大賀智史, 松原貴子: 高齢者の運動誘発性鎮痛: 減退メカニズムと

2024年1月～12月 教員別業績リスト

- 関連因子. Pain Research 39 (Supplement) : S99, 2024. 第 46 回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
36. 丸山佳輝, 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: 慢性腰痛に対する運動誘発性鎮痛とバリア因子の検討. Pain Research 39 (Supplement) : S100, 2024. 第 46 回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
37. 池村明里, 服部貴文, 大賀智史, 白木大吾, 松岡伸幸, 溝上真樹, 杉山陽子, 松原貴子, 飯田宏樹: 慢性疼痛の多角的治療における低強度運動の継続的鎮痛効果 – 運動および神経ブロック頻度の影響. Pain Research 39 (Supplement) : S100, 2024. 第 46 回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
38. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 更年期女性の疼痛症状・疼痛調節系と体組成は身体活動量増進による影響を受けるか? Pain Research 39 (Supplement) : S103, 2024. 第 46 回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
39. 服部貴文, 松原貴子, 城由起子, 尾張慶子, 丹羽英美, 西須大徳, 牛田享宏: 下行性疼痛抑制系の機能障害がもたらす慢性疼痛の臨床症候: conditioned pain modulation に基づく多変量解析. Pain Research 39 (Supplement) : S106, 2024. 第 46 回日本疼痛学会 (東京, 2024/11/17)
40. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 富澤孝太, 松原貴子: 早期 KOA の疼痛増悪メカニズム – MRI と QST による検討 –. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S59, 2024. 第 17 回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/11/30)
41. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 松原貴子: 運動誘発性鎮痛の末梢機序の検討 – 骨格筋の果たす役割 –. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S45, 2024. 第 17 回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/12/1)
42. 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 女性のライフステージと疼痛特性 – 周期的疼痛と慢性疼痛の変遷 –. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S73, 2024. 第 17 回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/12/1)
43. 大賀智史, 服部貴文, 下和弘, 勝真理, 岸淵薫, 木下智美, 松原貴子: 更年期女性の運動器疼痛症状と疼痛調節能および体組成・骨量との関係. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S73, 2024. 第 17 回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/12/1)
44. 山口修平, 服部貴文, 大賀智史, 下和弘, 松原貴子: サルコペニア高齢者の疼痛感作と EIH 効果. Journal of Musculoskeletal Pain Research 16(4) : S86, 2024. 第 17 回日本運動器疼痛学会 (東京, 2024/12/1)

【講演】

1. 服部貴文: 痛みの客観的評価 (QST など). 令和 5 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 慢性疼痛診療研修会 (岐阜, 2024/02/18)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

2. 服部貴文: 定量的感覚検査のコツとピットフォール. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 ハンズオンセミナー (長崎, 2024/06/08)
3. 服部貴文: 評価の新機軸 -病態メカニズムの把握-. 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 シンポジウム2 (長崎, 2024/06/09)
4. 服部貴文: 変形性膝関節症の痛みの病態と治療戦略. 第33回福岡県理学療法士会 (福岡, 2024/07/14)
5. 服部貴文: ヒトにおける運動誘発性鎮痛の作用機序-筋収縮・関節運動・脳活動の役割-. 第46回日本疼痛学会 シンポジウム13 (東京, 2024/11/17)

尾寄 遠見 Tohmi OSAKI (作業療法学科 助教)

【論文】

Hird N, Osaki T, Ghosh S, Palaniappan SK, Maeda K. Enabling Personalization for Digital Cognitive Stimulation to Support Communication With People With Dementia: Pilot Intervention Study as a Prelude to AI Development. *JMIR Form Res*. 2024 Jan 16;8:e51732. doi: 10.2196/51732.

Oki Y, Osaki T, Kumagai R, Murata S, Encho H, Ono R, Yasuda H, Kowa H. An 18-month multimodal intervention trial for preventing dementia: J-MINT PRIME Tamba. *Alzheimers Dement*. 2024 Oct;20(10):6972-6983. doi: 10.1002/alz.14170.

【学会発表】

Tahiro D, Oki Y, Osaki T, Kakihana H, Morimoto Y. Characteristics of Instrumental Activities of Daily Living in community-dwelling older adults with respiratory sarcopenia in Japan. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (Hokkaido, 2024/11)

田代 大祐, 沖 侑太郎, 小野 将英, 竹内 楓, 尾寄 遠見, 柿花 宏信, 森本 陽介. 腹部隆起運動測定波形の可視化による呼吸バイオフィードバック効果の検証. 第34回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (名古屋市, 2024/11)

尾寄 遠見, 熊谷 諒子, 沖 侑太郎, 小野 玲, 安田 尚史, 古和 久朋. 認知症予防を目指した多因子介入による認知症リスクスコア改善の効果. 第43回日本認知症学会学術集会 (郡山市, 2024/11/22)

2024年1月～12月 教員別業績リスト

【講演】

尾崎 遠見. わが国における認知症予防介入研究の最新動向－J-MINT PRIME Tamba 研究の実践を中心に－. 新生病院 認知症疾患医療センター 認知症サロン研修会（神戸市, 2024/03/09）

尾崎 遠見. 基本動作としての「歩行」, 生活動作としての「歩くこと」. 第20回レビー小体型認知症サポートネットワーク兵庫交流会（神戸市, 2024/06/08）

田代 大祐 Daisuke TASHIRO（作業療法学科 助教）

【学会発表】

田代大祐, 沖侑太郎, 小野将英, 竹内楓, 尾崎遠見, 柿花宏信, 森本陽介. 腹部隆起運動測定波形の可視化による呼吸バイオフィードバック効果の検証. 第34回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会（2024年11月；愛知）

Kobashi M, Ogawa M, Tashiro D, Okayama T, Oba J. Two-year Changes in the Physical Activities of Daily Living and Daily Function in Community-dwelling Older Adults. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress（2024年11月；北海道）

Okayama T, Oba J, Ogawa M, Tashiro D, Kobashi M. Characteristics of participation in community activities among community-dwelling older adults -Comparison of two groups, divided by age and gender-. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress（2024年11月；北海道）

Tashiro D, Oki Y, Osaki T, Kakihana H, Morimoto Y. Characteristics of Instrumental Activities of Daily Living in community-dwelling older adults with respiratory sarcopenia in Japan. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress（2024年11月；北海道）

小橋美月, 小川真寛, 田代大祐, 大瀧誠, 梶田博之, 加藤雅子, 塚原正志, 森川孝子, 中前智通, 藤原瑞穂, 大庭潤平. 地域在住高齢者の1年間の生活機能の変化とIADL実施状況の関連～生活機能維持・向上に対する旅行の有用性～. 第26回日本老年行動科学会（2024年9月；東京）

【講演・展示】

田代大祐. 新・呼吸計測機器－腹部隆起量測定器－. バリアフリー展（2024年4月；大阪）

2024年1月～12月 教員別業績リスト

田代大祐. 認知症とは. 明石市介護予防講座（2024年5月24日；堂の上ふれあいサロン, 兵庫）

田代大祐. 慢性呼吸器疾患のリスク管理. 兵庫県作業療法士会東播磨ブロック研修会（2024年7月11日；Web）

田代大祐. 腰痛・膝痛とうまくつきあう. 明石市介護予防講座（2024年9月18日；鳥羽小学校コミュニティセンター, 兵庫）